

# MetaTrader4 売買追跡ツール 「MT4track」 ユーザガイド

FXSP シリーズ

<http://www.fxspseries.com/>

## ソフトウェア使用許諾契約書

本契約書は、FXSP series ソフトウェア製品と関連ドキュメント(以下まとめて“本ソフトウェア”といいます)に関して、本ソフトウェアのご購入者(以下“お客様”といいます)と本ソフトウェアの開発者(以下“著者”といいます)との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアの使用をもって、本「ソフトウェア使用許諾契約書」をご承諾いただき、ソフトウェアの使用許諾契約が成立したものとさせていただきます。

### 1. 本ソフトウェアの使用許諾

お客様は本契約への同意を前提に本ソフトウェアを使用することができます。

### 2. 著作権

本ソフトウェアは著作権法により保護されています。著作権は、著者に帰属します。また、本ソフトウェアに含まれている一部のコンポーネントは、その供給者に帰属しているものがあります。

### 3. 禁止事項

(1)お客様は、本ソフトウェアを著者の許可なく、一部、または全部を印刷物、ビデオ、電子ファイル、メール、メールマガジン、ホームページ等あらゆる手段による複製、転載、転売(オークションを含む)等を行うことを禁止します。

(2)本ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることを禁止します。

(3)上記の禁止事項を違反した場合、違約金として著者に一律 500 万円を支払う事とします。

次頁へ続く

#### 4. 免責

(1) いかなる場合においても、著者は本ソフトウェアに係わることから生ずるいかなる損害に関して、一切責任を負わないものとします。例え、著者がその可能性について知らされていた場合も同様です。

(2) お客様は、理由の如何を問わず、著者に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとします。

(3) 著者は独自の判断に基づき、本ソフトウェアの仕様又は内容の変更、修正、配布方法等の変更及び対価の設定をすることができます。

(4) 著者は本ソフトウェアの基本動作の不具合への対応は順次行いますが、環境等の諸事情により迅速な対応がとれない場合もあります。

(5) 商品の性質上、ご購入後の返品及び交換はできません。

#### 5. 本契約の終了

お客様が上記に記載された本契約の定め的一条項にでも違反した場合には、本契約は自動的に終了します。終了した場合には、お客様は本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに関するドキュメントならびにその一切の複製を破棄しなければなりません。

#### 6. 管轄裁判所

本契約に関連して法律上の紛争が生じた場合は、仙台地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所といたします。

## 目次

ユーザガイド変更履歴.....	1
1. はじめに .....	2
MT4track について .....	2
サポートについて .....	2
使用期限とバージョンアップについて.....	2
2. 動作環境について.....	3
自動売買を行うパソコンについて.....	3
ネットワーク環境について.....	3
動作対象 OS について.....	3
売買情報の保存先 .....	3
3. デモ口座の開設.....	4
4. MetaTrader4 の設定 .....	16
5. 追跡ツールをセットする.....	17
MT4track のファイルをコピーする .....	17
MT4track を追跡元 MetaTrader4 のチャートへ組み込む .....	19
MT4track_Trader を追跡先 MetaTrader4 のチャートへ組み込む .....	23
追跡売買を一時的に停止する.....	26
パラメータを変更する.....	27
追跡元のチャート左上に表示されるコメントについて.....	28
追跡先のチャート左上に表示されるコメントについて.....	29
エラーについて .....	31
使用期限について .....	33
アップデートする場合の注意点.....	33
ポジション保有状態で終了する場合の注意事項.....	33
6. パラメータについて.....	34
追跡元「MT4track」のパラメータ.....	34
追跡先「MT4track_Trader」のパラメータ.....	35
ID について .....	48
7. その他 .....	49
メール送信機能について.....	49
8. FAQ .....	51

9.	設定例 .....	55
例 1	A 口座のすべての売買を B 口座で追跡する .....	55
例 2	A 口座のすべての売買を B 口座と C 口座で追跡する .....	56
例 3	A 口座の特定の EA の売買のみ B 口座にて追跡する .....	57
例 4	A 口座と B 口座のすべての売買を C 口座で追跡する .....	58
例 5	A 口座の複数の EA を異なる追跡設定にて B 口座にて追跡する .....	59
例 6	同一 PC 内で A 口座→B 口座、C 口座→D 口座の追跡をする .....	60
10.	お問い合わせ頂く際のお願い.....	61
	不具合に関する質問.....	61
11.	最後に .....	62

## ユーザガイド変更履歴

バージョン	発行日	修正内容
Ver1.00	2009/05/06	
～Ver1.08		省略
Ver1.09	2010/02/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">追跡先「MT4track_Trader」のパラメータ</a> Email、MM、MinLotSize の説明を一部修正 MaxLotSize、Rounding、Unit の説明を追加</li> <li>・ <a href="#">メール送信機能について</a>を追加</li> <li>・ <a href="#">FAQ</a> を 1 件追加</li> </ul>
Ver1.10	2010/04/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">設定例</a>を追加</li> <li>・ <a href="#">FAQ</a> を 1 件追加</li> </ul>
Ver1.11	2010/10/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">動作対象 OS について</a>の説明を修正</li> <li>・ <a href="#">お問い合わせ頂く際のお願い</a>を追加</li> </ul>
Ver1.12	2011/02/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">「追跡先「MT4track_Trader」のパラメータ」</a> LotFilter の説明を追加</li> <li>・ <a href="#">「エラーについて」</a> エラー内容一覧にロット制限の説明を追加</li> <li>・ <a href="#">「使用期限とバージョンアップについて」</a>に説明を追加</li> <li>・ <a href="#">FAQ</a> を 1 件追加</li> </ul>
Ver1.13	2011/04/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">「追跡先「MT4track_Trader」のパラメータ」</a> LotFilter2 の説明を追加</li> </ul>
Ver1.14	2011/05/01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="#">「追跡先「MT4track_Trader」のパラメータ」</a> PriceAdvantage の説明を修正(マイナスの値の指定が可能になった為)</li> </ul>

## 1. はじめに

### MT4trackについて

この度は、MT4track をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

MT4track は、MetaTrader4 の売買を他の MetaTrader4 口座にて追跡するツールです。追跡は 1 秒以下の周期で実行される為、売買の遅延は最小限に抑えられます。また、MT4track は「1 : 1」の追跡だけでなく、「1 : 多」の追跡にも対応している為、追跡元のトレードを、複数の口座で追跡する事も可能です。

追跡を行うには、EA の追跡を行う MetaTrader4(以後“追跡元”とします)と、実際に売買する MetaTrader4(以後“追跡先”)の 2 つを起動し、追跡元には MT4track、追跡先には MT4track\_Trader をセットすることで動作します。セット方法は EA と同じですので、既に自動売買を利用されている方は簡単に設定頂けます。

また、MT4track の代わりに追跡元に MT4track\_Indicator をセットすることで、インジケータのシグナルを追跡して自動売買することも可能です。詳しく同梱の「MT4track\_Indicator ユーザガイド.pdf」をご確認ください。

### サポートについて

MT4track について、ご質問、ご要望がある場合は、**お客様のお名前を明記の上、[mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com) にお問い合わせください。**メールソフトの設定によりこちらからのメールが迷惑メールフォルダに入ってしまう場合がございますので、上記アドレスからのメールを受信できるようメールソフトの設定をお願い致します。お問い合わせの回答は 3 日以内に致しますが、返答がない場合上記の原因でこちらからのメールが届いていない場合がございます。その場合はお手数ですが再度ご連絡ください。

**よくある質問については[FAQ](#)ページに記載しておりますので、質問を頂く前に一度ご確認ください。**

また、お問い合わせを頂く際には「[お問い合わせ頂く際のお願い](#)」をご確認の上、お問い合わせ頂ければ幸いです。

### 使用期限とバージョンアップについて

MT4track のファイルには使用期限が設定されており、使用期限を過ぎると使用できなくなります。この使用期限は毎月 1 日頃に更新を行っておりますので、最低でも毎月 1 回はアップデートを行って頂く必要があります。

また、動作に不具合や、機能の追加を行った場合は、購入時のメールアドレスにアップデートのご連絡を行わせて頂きます。

## 2. 動作環境について

当ソフトウェアは、MetaTrader4 上で動作し、リアルタイムで売買の追跡を行います。その為、当ソフトウェアにて追跡売買を行うには、追跡元の EA が売買を行っている間、MetaTrader4 を常時起動しておく必要があります。また、リアルタイムで追跡を行う為、常時インターネットに接続されている必要があります。

また、MT4track は同一 PC 内でのみ動作致します。EA の追跡を行う MetaTrader4 と、追跡して売買する MetaTrader4 は同一 PC 内で起動してください。別々の PC にて動作させても、売買の追跡が行われませんのでご注意ください。

### 自動売買を行うパソコンについて

MetaTrader4 が動作するパソコンであれば問題はありませんが、常時稼働させることが基本となる為、低消費電力のパソコンがよろしいかと思えます。また、事故によるコンセントの抜けや、一時的なブレーカーの落ち等による電源の寸断を考えた場合、バッテリーを搭載したノート型パソコンの方が安心できます。

また、Windows Update の自動更新機能等、自動で再起動が行われる機能、またはソフトウェアを利用している場合、再起動が行われると MetaTrader4 が終了してしまいます。売買追跡中は再起動されないようお使いの各種ソフトウェアの設定を変更してください。（設定方法はお使いのソフトウェアのマニュアルをご確認ください。）

### ネットワーク環境について

24 時間接続が必要となる為、ケーブル回線や ADSL、光接続等の定額インターネット回線をご利用ください。PHS 等のモバイル接続回線や、ISDN 等の低速接続の回線については、通信環境が安定せず当ソフトウェア本来のパフォーマンスを発揮できない場合がありますので、なるべく前述の回線をご利用ください。

### 動作対象OSについて

WindowsXP、WindowsVista、Windows7 に対応しています。VPS については稼働させることは可能ですが、問題の切り分けが難しくなることから、サポート対象外となります。

Windows Vista や Windows7 のユーザアカウント制御(UAC)機能については、MetaTrader4 の動作を阻害する可能性がある為、無効にされることを推奨致します。

### 売買情報の保存先

売買情報はレジストリに保存されます。レジストリクリーナー等、レジストリを削除するソフトウェアを使用されている場合は、誤動作が発生する場合がありますのでご注意ください。



### 3. デモ口座の開設

動作については万全を期しておりますが、ご使用を開始される場合には、デモ口座にて売買の追跡が正しく行われるかテストを行ってください。

各 MetaTrader4 採用業者ではデモ口座を無料で開設できます。ここでは例として MetaTrader4 を提供している MetaQuotes 社の MetaTrader4 を利用し、デモ口座を開設する手順をご紹介します。**このインストール方法を参考に、ご自身で利用されている業者のデモ口座を開設してください。各業者のホームページにデモ口座開設に関する記載があります。**

MT4track の動作確認を行う場合には、最低でも 2 つの MetaTrader4 を起動する必要があります。同一フォルダにインストールされた MetaTrader4 は、2 重に起動する事ができない為、追跡元と追跡先の MetaTrader4 を別々のフォルダにインストールする必要があります。

それでは、まず追跡元の MetaTrader4 をインストールします。

MetaQuotes 社 [http://www.metaquotes.net/en/metatrader4/trading\\_terminal](http://www.metaquotes.net/en/metatrader4/trading_terminal) のホームページに行き、画面下の「Download MetaTrader4 Terminal」をクリックします。

mt4setup.exe のダウンロードが始まりますので、セットアップファイルを適当な場所に保存してください。

**Mobile Trading**  
As a busy trader, you can't afford to waste time sitting behind a computer waiting for a favorable moment. This is why we have developed mobile terminals.  
[Learn more...](#)

Security of making the trade transactions is of paramount importance for programs of this kind. In MetaTrader 4, we have come up with the perfect solution. All data exchange between the client terminal and the platform servers is 128-bit encrypted. This is enough to ensure the security of trade transactions. In addition to this, you can use the improved security system based on the algorithm for public-key cryptography (RSA). Information protected in this way is impossible to hack within a reasonable period time.

The MetaTrader 4 terminal comprises a whole range of functions, but it takes just a few minutes to get acquainted with them. Moreover, the terminal is supplied with a built-in 'Help' facility to answer all of your questions. We've made the MetaTrader 4 terminal simple and convenient in use, so that you can invest your time into your most important work - trading!

MetaTrader 4 is probably the best client terminal in the market. [Download the MetaTrader 4 terminal](#) to find out why it has become the choice of hundreds of brokerage companies and an army of traders all over the world!

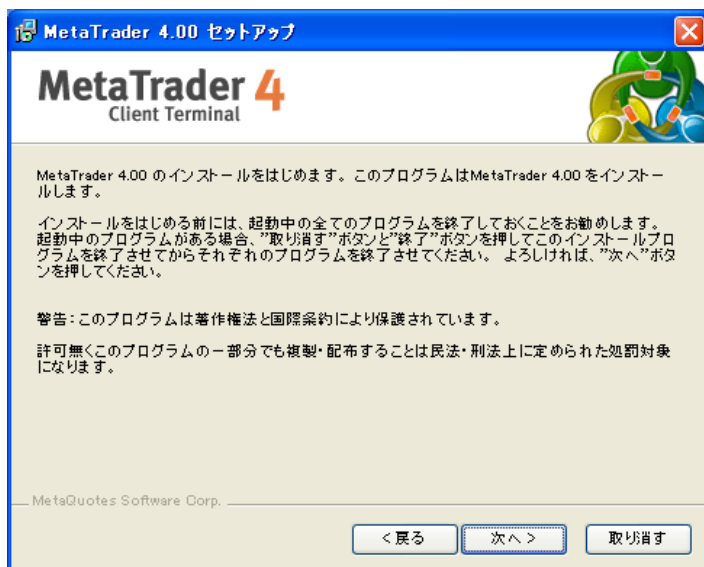
**Download MetaTrader 4 Terminal (5.5 Mb)**

ダウンロードした「mt4setup.exe」を実行します。

言語は日本語がデフォルトで選択されていますので、そのまま「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



「はい、全てのライセンス条項に同意します。」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。



MetaTrader4 のインストール先の指定について特に問題なければそのまま「次へ」をクリックします。



インストール情報について特に問題なければそのまま「次へ」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



インストールが開始されます。



「終了」ボタンをクリックします。



MetaTrader4 が起動し、デモ口座申請画面になります。

必要事項を記入し、「貴社からのニュースレター受取りに同意します。」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

※口座タイプを変更し、「forex-jpy」を選択すると円建てのデモ口座となります。円建てに変更した場合は、証拠金の設定値も日本円での指定になりますのでご注意ください。

デモ口座の申請

?

×

下記にご注意の上、必要事項をご入力下さい。

レバレッジは必ず1:100を選択して下さい。    ニュースレター受取りにチェックを入れて、次へ進んで下さい。

お名前:

test

国名:

Japan

都道府県名:

test

市町村名:

test

郵便番号:

test

住所(続き):

test

電話番号:

test

Eメール:

test

口座タイプ:

forex-usd

通貨種別:

USD

レバレッジ:

1:100

証拠金:

5000

☐ 貴社からのニュースレター受取りに同意します。

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

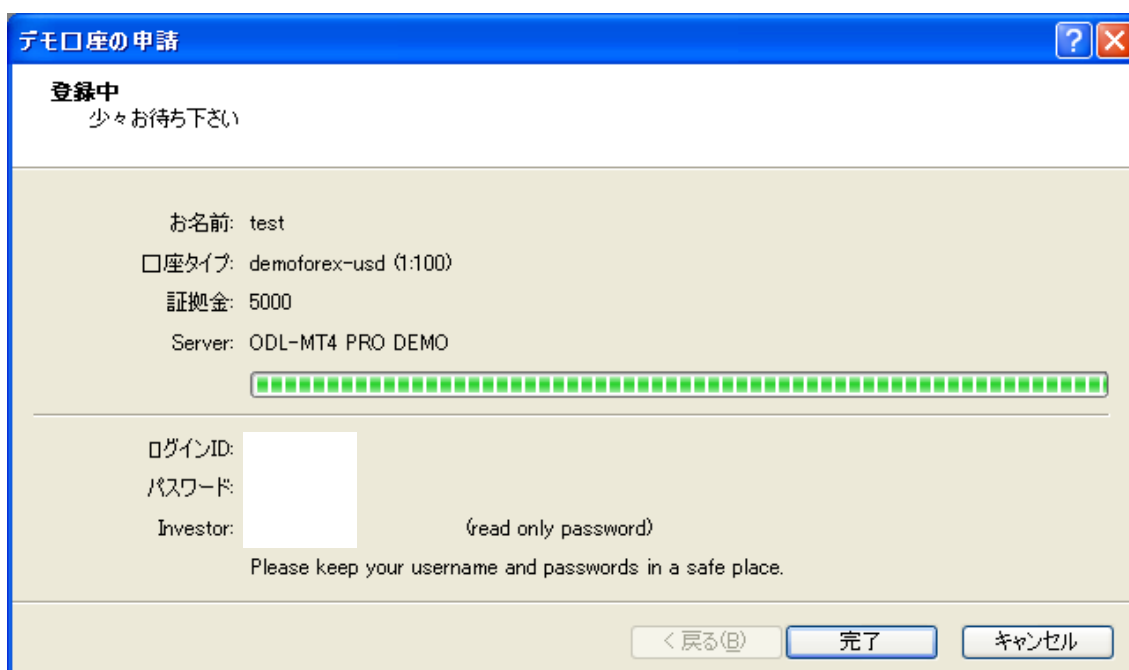
「次へ」をクリックします。

※パソコンがインターネットに接続されていないとデモ口座の申請ができませんのでご注意ください。



アドレス	会社名	Ping
ODL-MT4 PRO DEMO	ODL Securities	300 ms

「完了」をクリックするとデモ口座の開設は完了です。



お名前: test

口座タイプ: demoforex-usd (1:100)

証拠金: 5000

Server: ODL-MT4 PRO DEMO

ログインID:

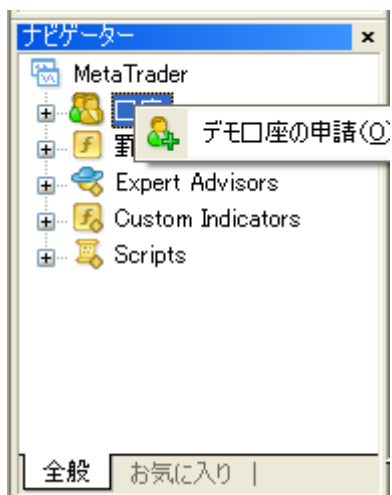
パスワード:

Investor:  (read only password)

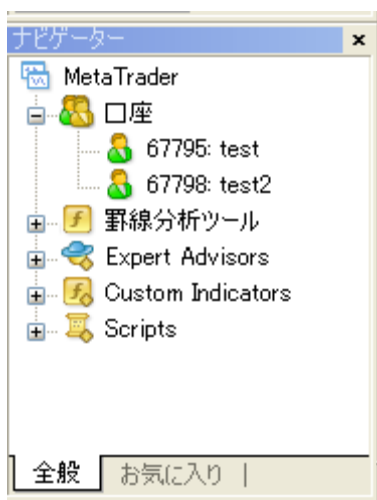
Please keep your username and passwords in a safe place.

デモ口座についてはいくつでも作成する事が可能です。

デモ口座の開設はナビゲーターの「口座」を右クリックし、「デモ口座の申請」をクリックすることで開設できます。



複数のデモ口座を開設した場合は、「口座」を展開して切り替えたい口座をダブルクリックすることにより切り替えることができます。





追跡元の MetaTrader4 のインストールが終わりましたので、同様に追跡先の MetaTrader4 をインストールします。

再度、ダウンロードした「mt4setup.exe」を実行し、同様にインストールしてください。

但し、下記の画面のように、先程インストールした場所とは異なる場所を指定しインストールしてください。

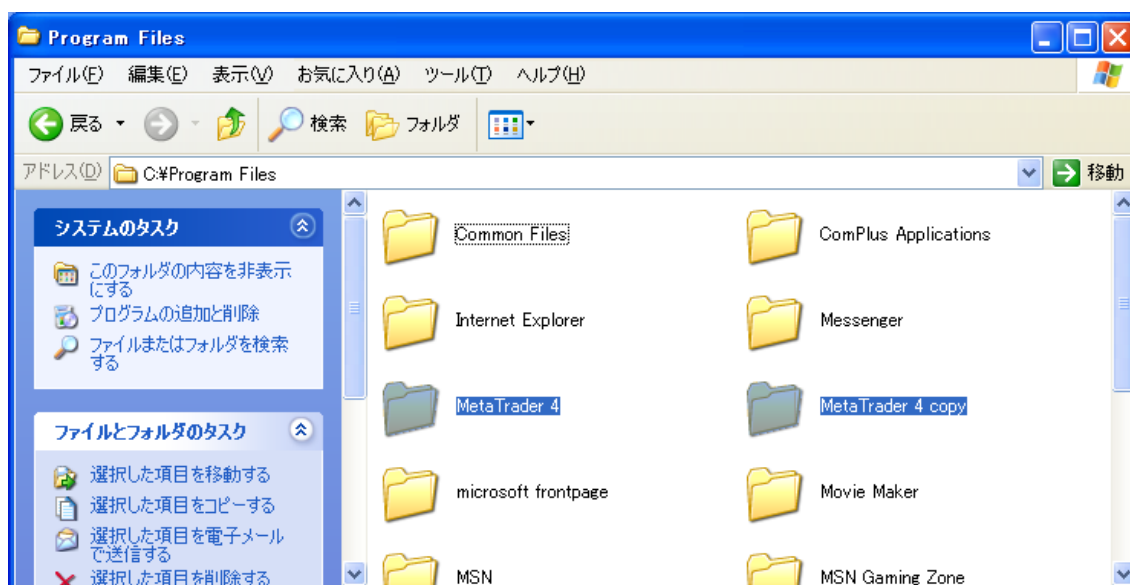
この例では、追跡先のインストール先を

「C:\Program Files\MetaTrader 4 copy」

としています。



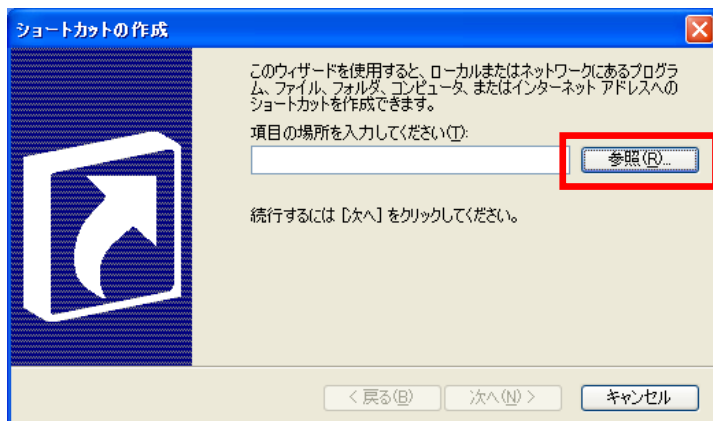
追跡元、追跡先の MetaTrader4 のインストールが終わりましたら、起動を分かりやすくする為に、デスクトップにショートカットを作成します。このショートカット作成は任意ですので必要のない方は飛ばしてください。



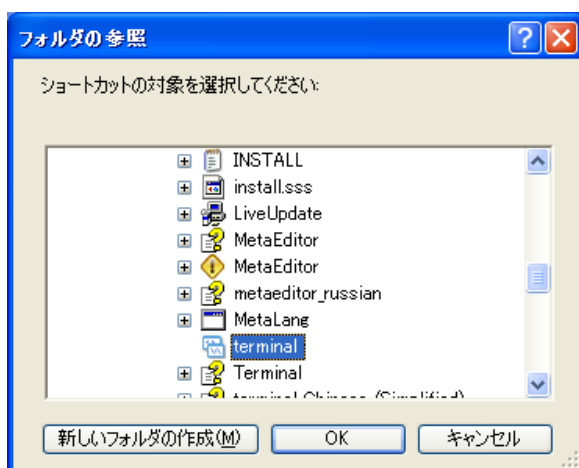
デスクトップで右クリックし、新規作成→ショートカットをクリックします。



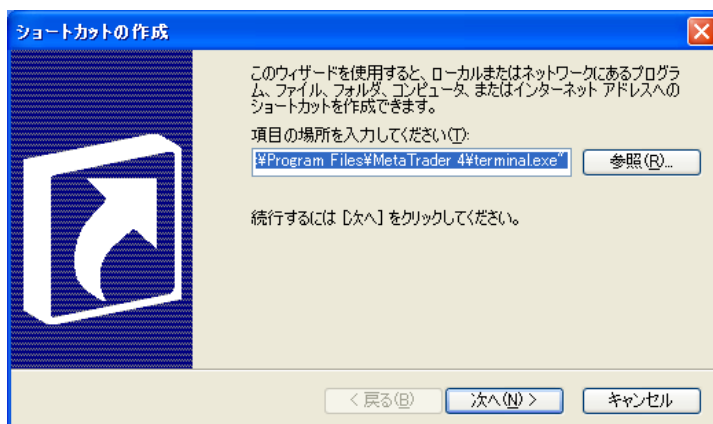
ショートカットの作成画面が開きますので、参照をクリックします。



まず、追跡元の MetaTrader4 をインストールしたフォルダの terminal を選択し、OK をクリックします。



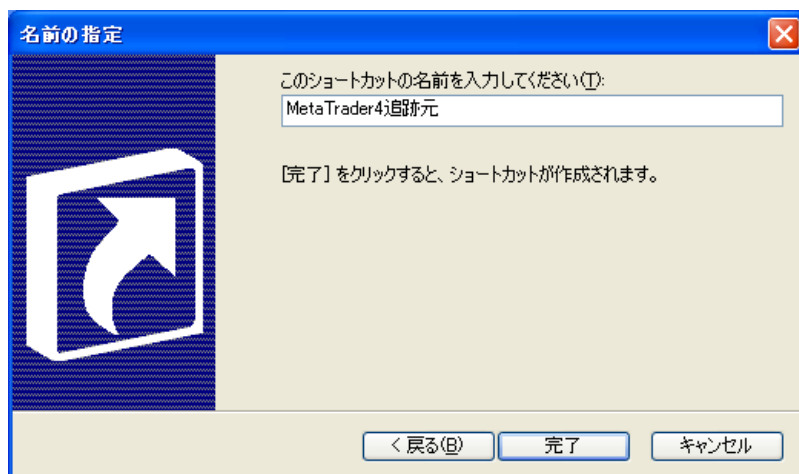
次へをクリックします。



ショートカット名はわかりやすい名前を設定してください。

この例では「MetaTrader4 追跡元」と設定しました。

設定しましたら、完了ボタンをクリックしてください。



同様に、追跡先のショートカットも作成してください。



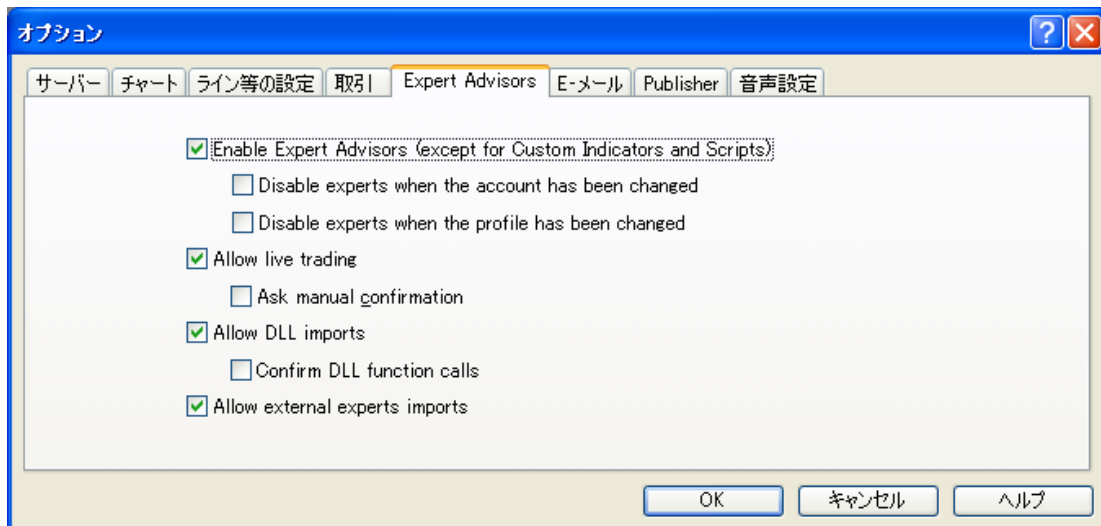
## 4. MetaTrader4 の設定

MetaTrader4 をインストールしたままの設定では、自動売買が行えませんので、MetaTrader4 の設定変更を行います。追跡元、追跡先共に設定を変更してください。

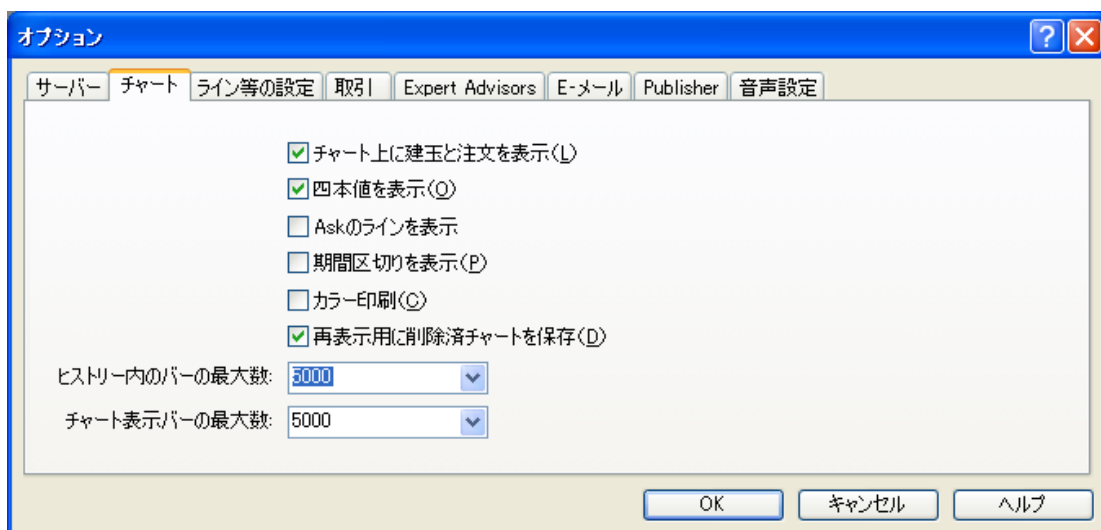
メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。

オプション設定画面が表示されますので、「Expert Advisors」のタブをクリックし

下記画面のようにチェックを変更します。すぐに取引を開始したくない場合には、一番上の「Enable Expert Advisors」のチェックを外しておき、準備が整った段階でチェックを付けてください。



また、自動売買を行う際は、「ヒストリー内のバーの最大数」、「チャート表示バーの最大数」を小さい値にすることにより、パソコンへの負荷が少なくなります。

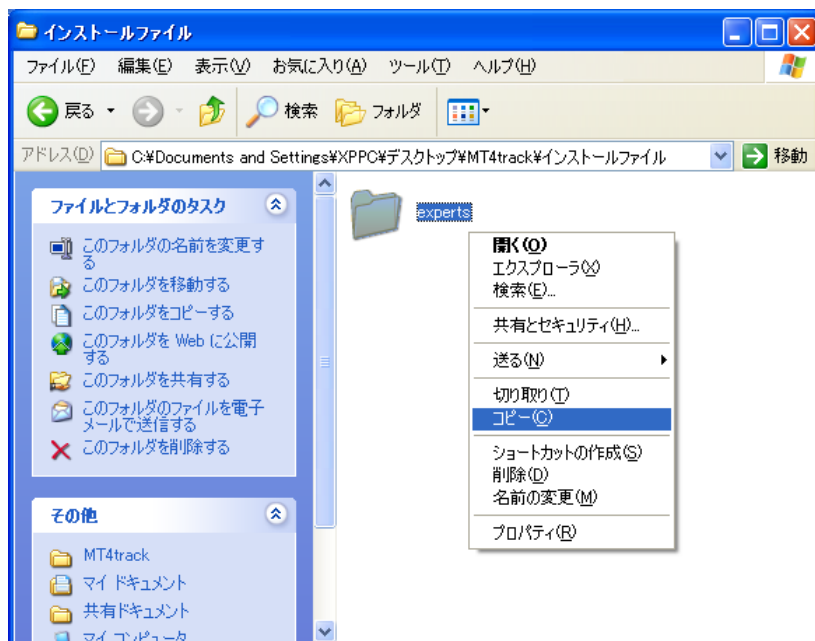


## 5. 追跡ツールをセットする

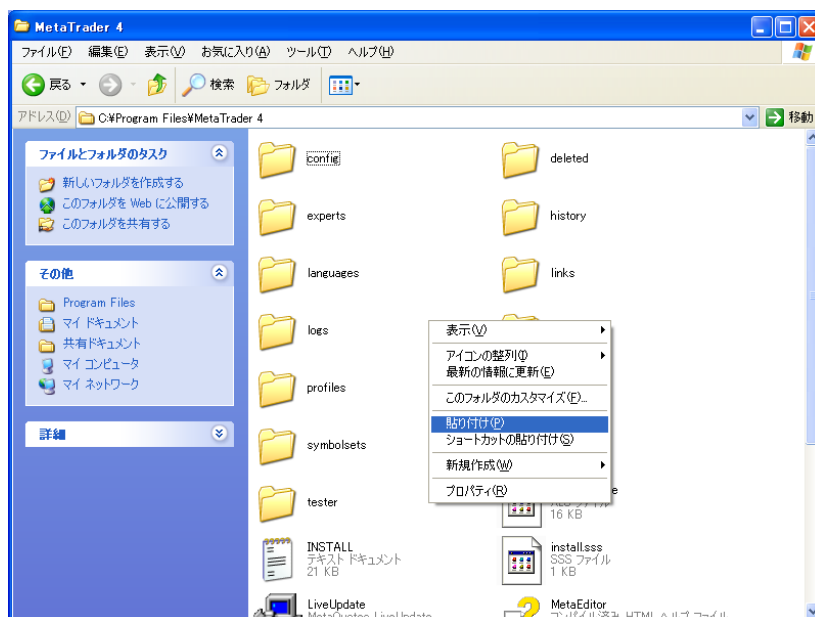
### MT4trackのファイルをコピーする

MetaTrader4 を起動している場合にはすべて終了してください。

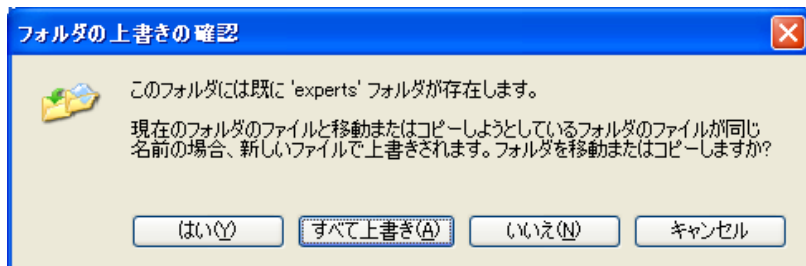
インストールファイル内の experts フォルダを右クリックし、コピーします。



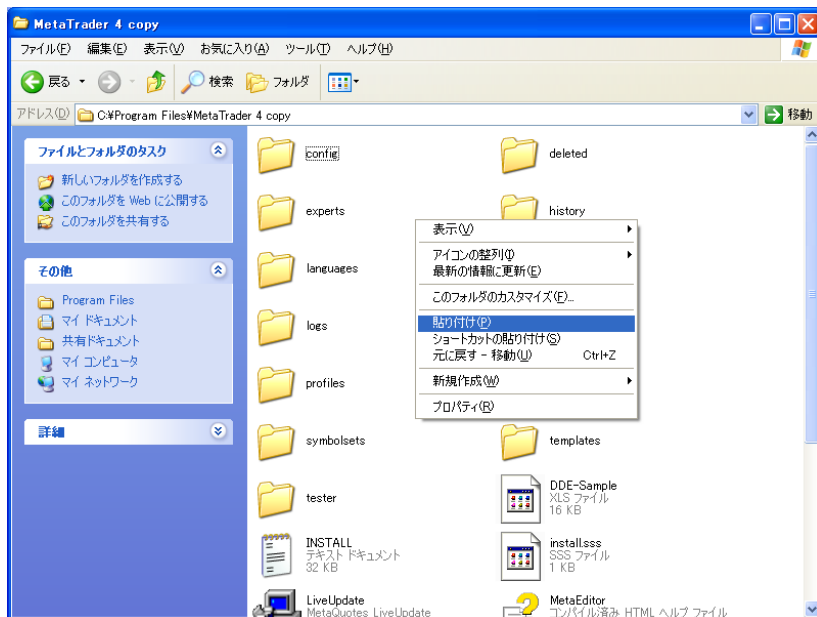
追跡元の MetaTrader4 をインストールしたフォルダに貼り付けします。



フォルダの上書きの確認ウインドウが出ますので、すべて上書きを選択してください。



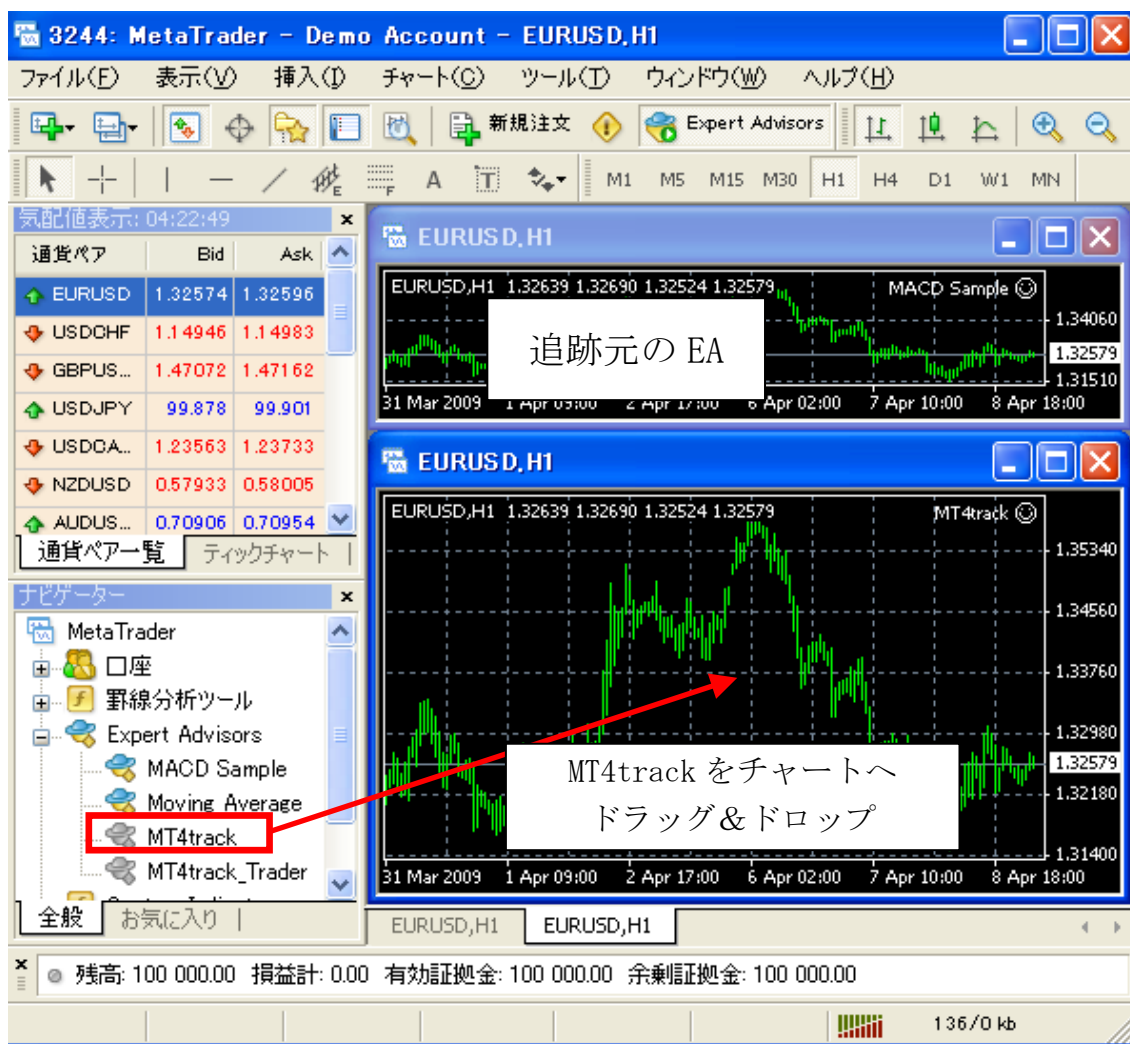
同様に、追跡先の MetaTrader4 をインストールしたフォルダにもコピーしてください。



## MT4trackを追跡元MetaTrader4 のチャートへ組み込む

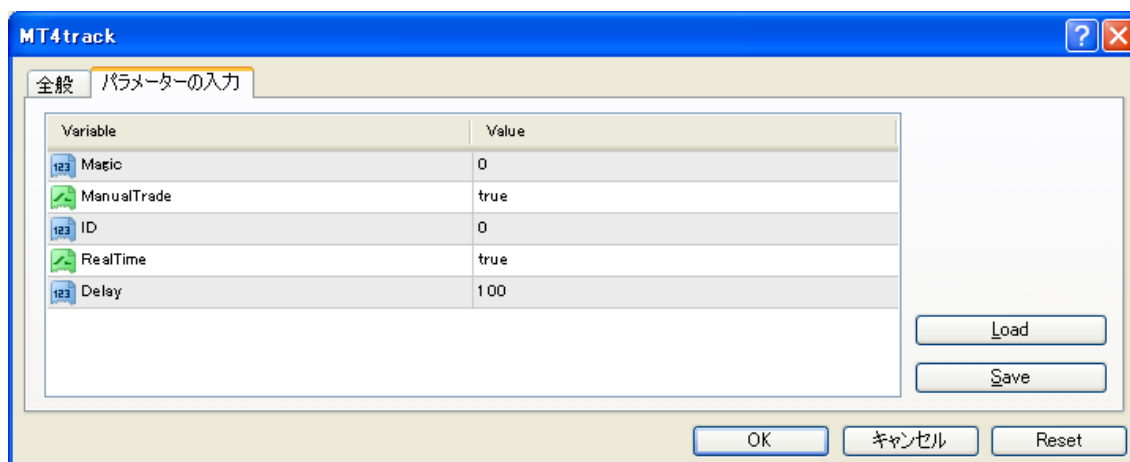
追跡元の MetaTrader4 を起動し、追跡を行う EA と「MT4track」を組み込みます。

MT4track を組み込む通貨ペアは、値動きがある通貨ペアであれば、どの通貨ペアでも問題ありません。

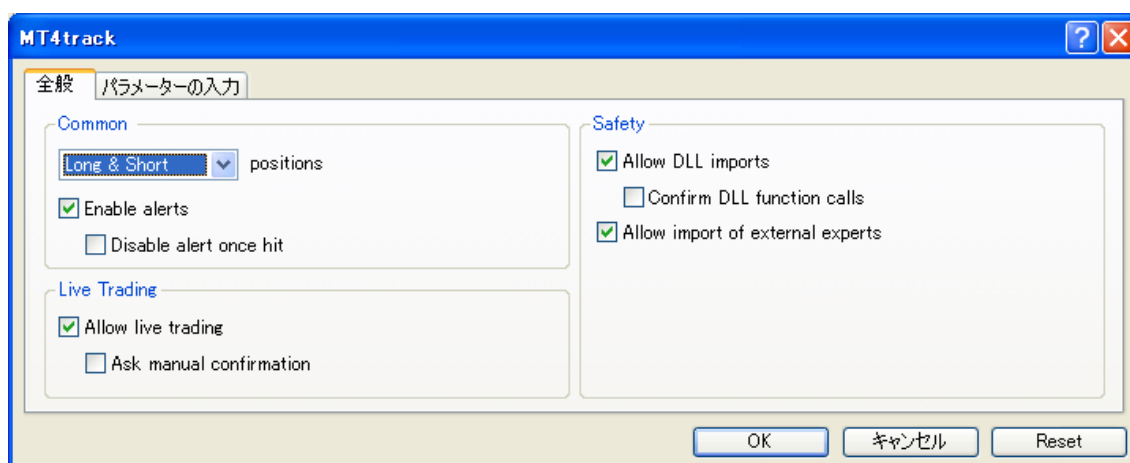




チャートへドラッグ&ドロップした際にパラメータ設定画面が出てきますので、パラメータを変更する場合にはここで変更してください。



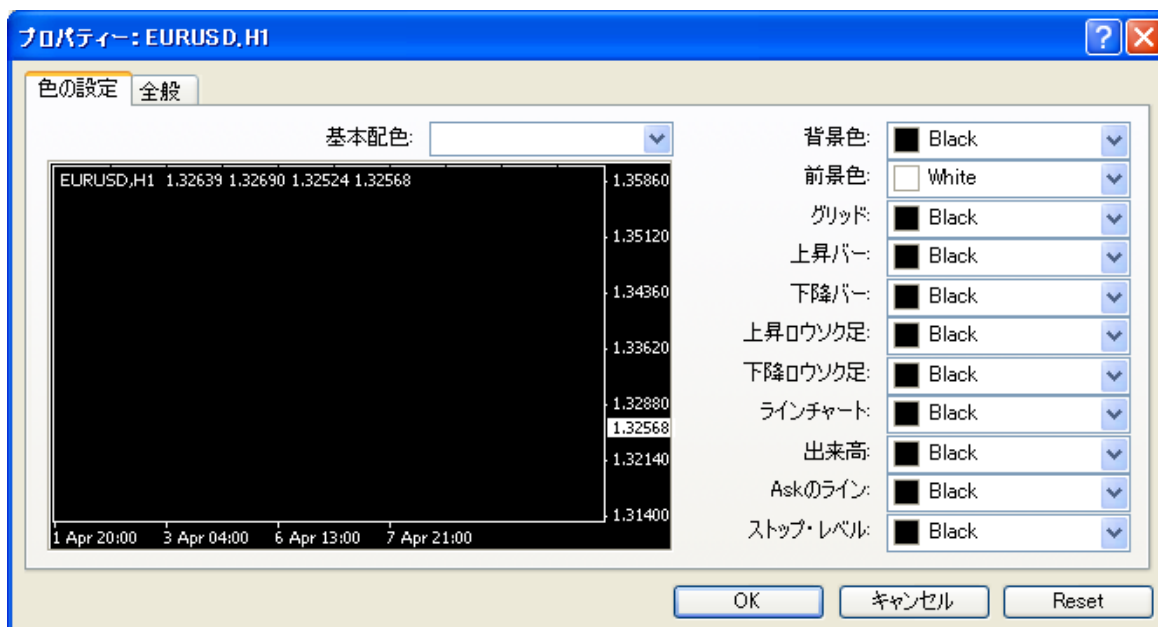
また、「全般」タブを表示し、下記画面と同じ状態になっているか確認します。  
下記画面と異なっている場合は、下記画面の通りに変更し「OK」をクリックします。



チャートに本ソフトが組み込まれると、下記画面のようにチャート右上に、本ソフトの名称と、稼働中のスマイルマークが表示されます。また、追跡がスタートすると、左上にポジションの状況等が表示されます。



左上に表示される情報が見辛い場合には、チャートを右クリックしてプロパティを表示し、前景色以外をすべて「Black」に設定すると見やすくなります。



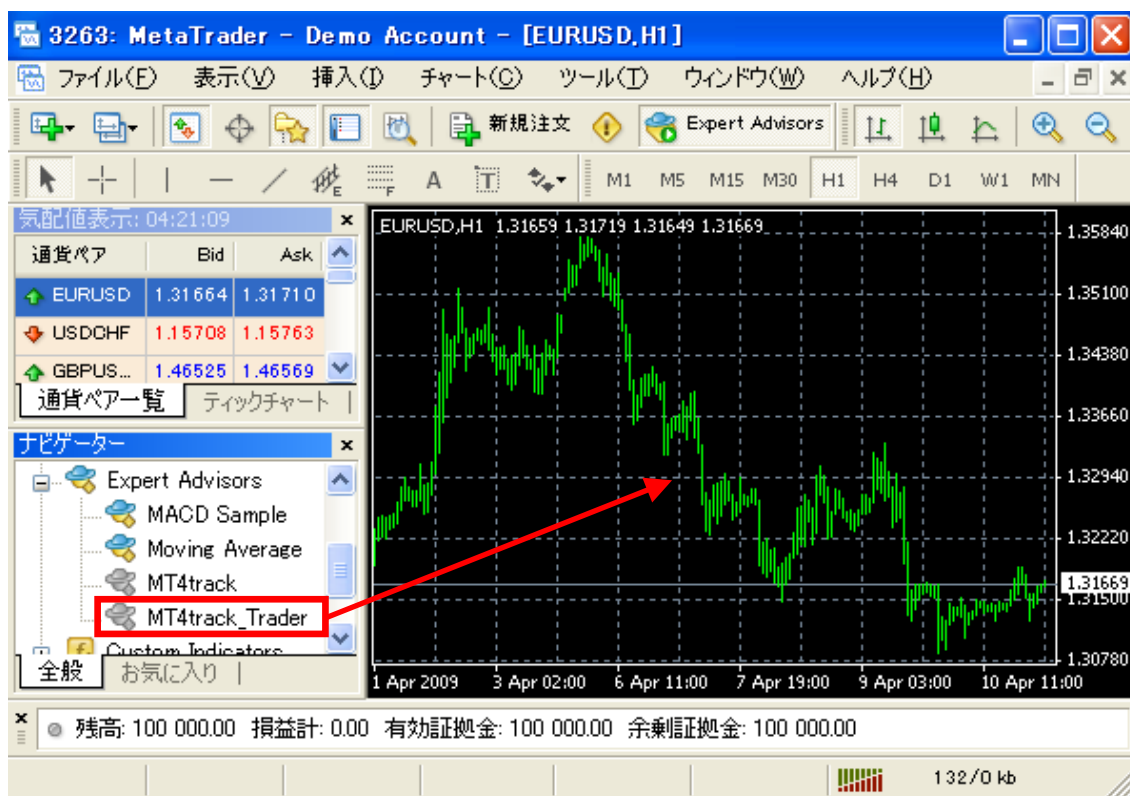
前景色以外をすべて「Black」にすることで、価格バー等が表示されなくなり、情報が見やすくなります。



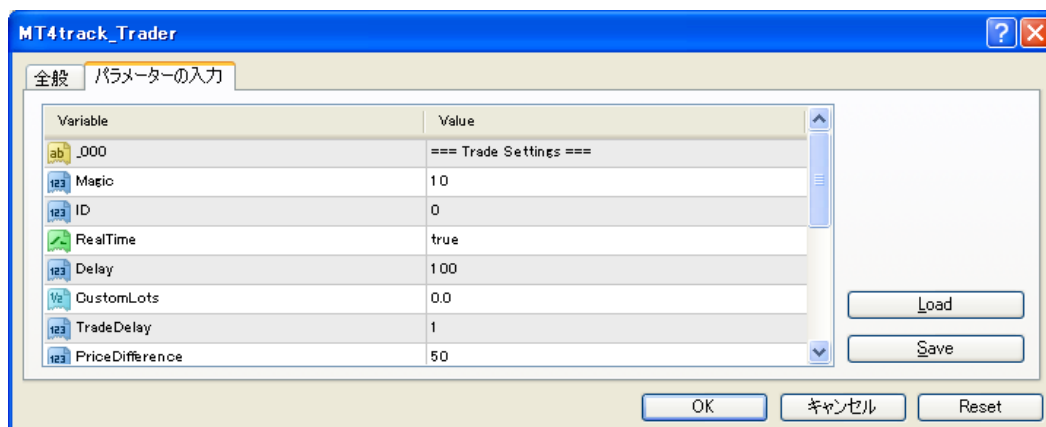
## MT4track\_Traderを追跡先MetaTrader4のチャートへ組み込む

追跡用のMT4trackの設定が完了しましたら、続いて、追跡先のMT4trackをチャートへ組み込みます。

追跡先のMetaTrader4を起動し、適当な通貨ペアを表示し、**追跡先用の「MT4track\_Trader」**をチャートへ組み込みます。

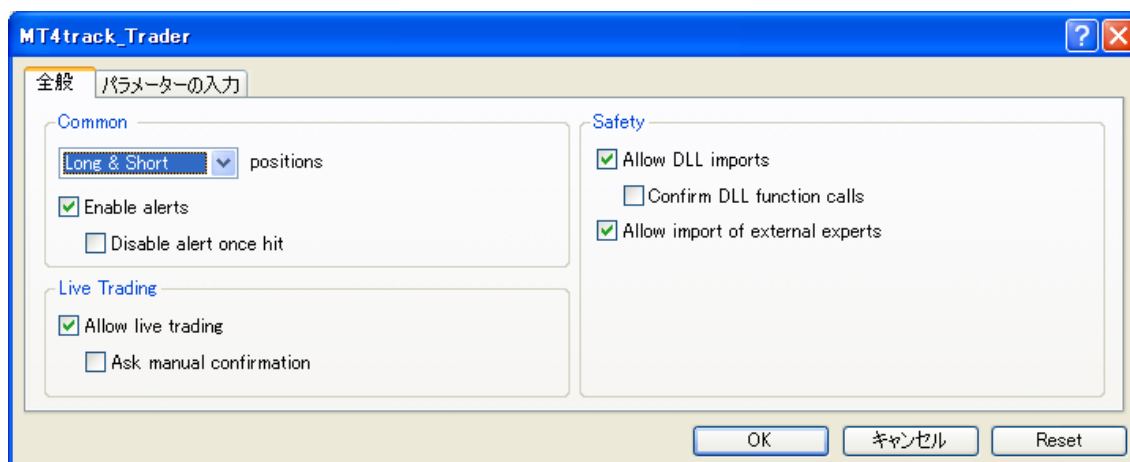


チャートへドラッグ&ドロップした際にパラメータ設定画面が出てきますので、パラメータを変更する場合にはここで変更してください。

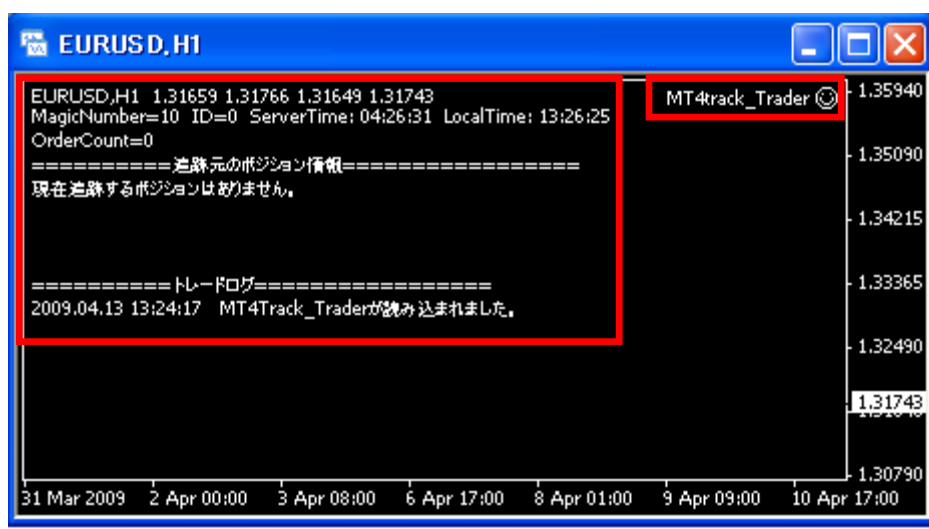


また、「全般」タブを表示し、下記画面と同じ状態になっているか確認します。

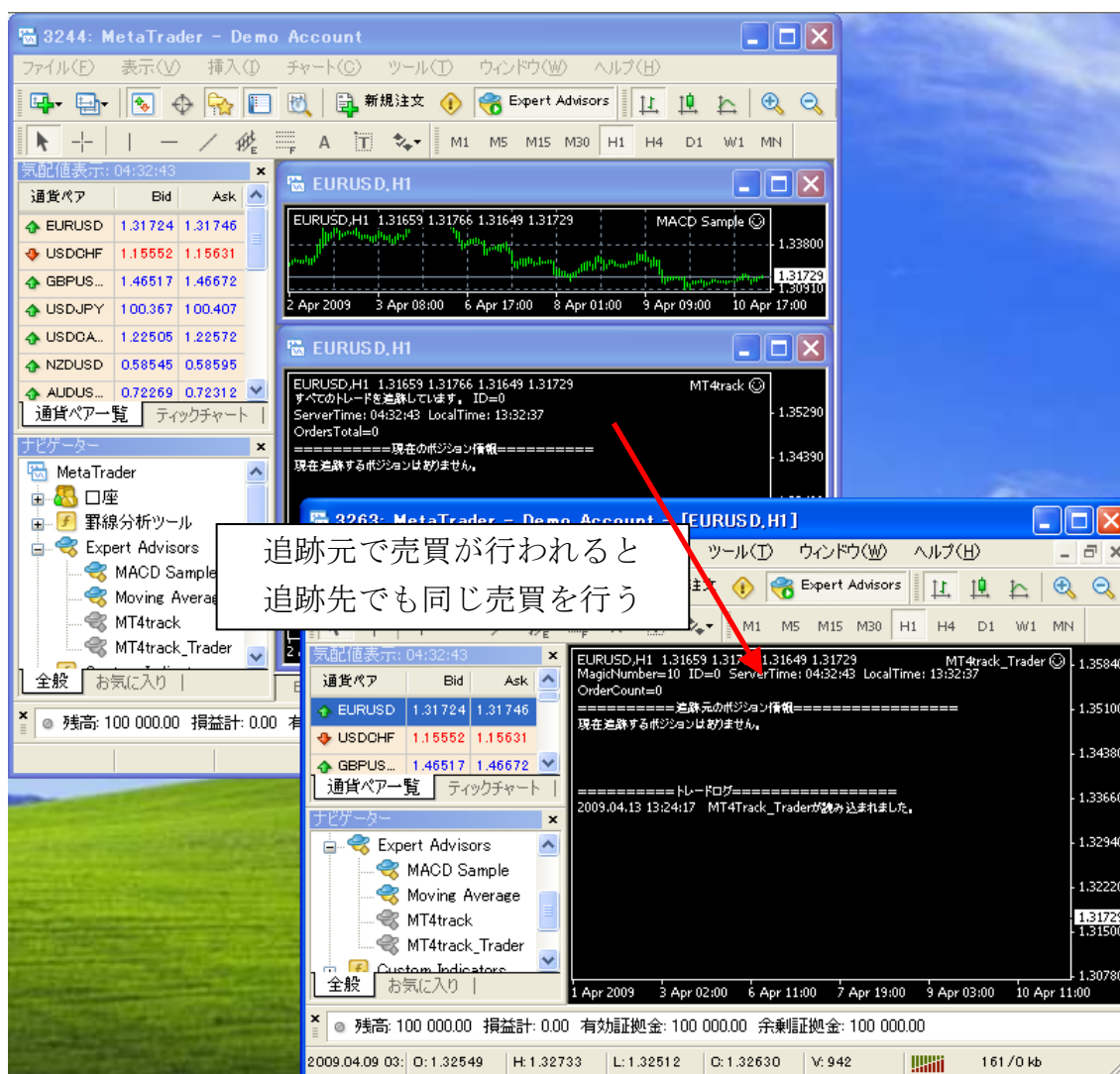
下記画面と異なっている場合は、下記画面の通りに変更し「OK」をクリックします。



チャートに本ソフトが組み込まれると、下記画面のようにチャート右上に、本ソフトの名称と、稼働中のスマイルマークが表示されます。また、追跡がスタートすると、左上にポジションの状況等が表示されます。追跡元の時と同じように、チャートのプロパティを変更して背景を黒にすると表示が見やすくなります。



追跡元と、追跡先2つのMetaTrader4の設定が終わりましたら、設定は完了です。  
後は追跡元で売買が行われると、MT4trackが売買を検知して、追跡売買を開始します。

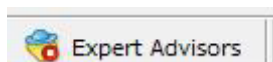


## 追跡売買を一時的に停止する

画面上部の「Expert Advisors」をクリックすることにより、自動売買を一時的に停止することができます。

※既にポジションがある場合は自動売買を停止しないでください。

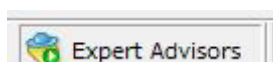
右の画像が停止状態です。



また、チャートの右上には×マークが表示され、自動売買が停止されます。

停止状態の時に「ExpertAdvisors」を再度クリックすることにより、自動売買を開始できます。

右の画像が稼働状態です。

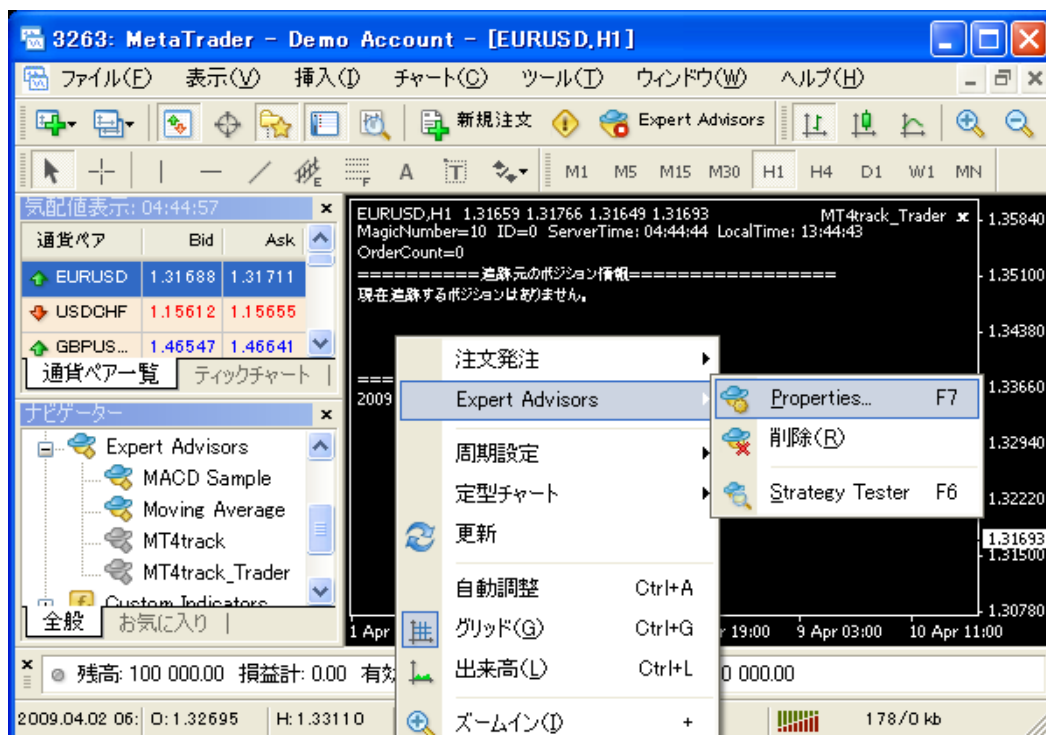


また、チャート右上には稼働中のスマイルマークが表示されます。

## パラメータを変更する

MT4track はリアルタイム処理を行っている為、パラメータを変更する場合には、MetaTrader4 の画面上部にある「Expert Advisors」ボタンにて EA を一時停止状態にしてからパラメータの変更を行ってください。

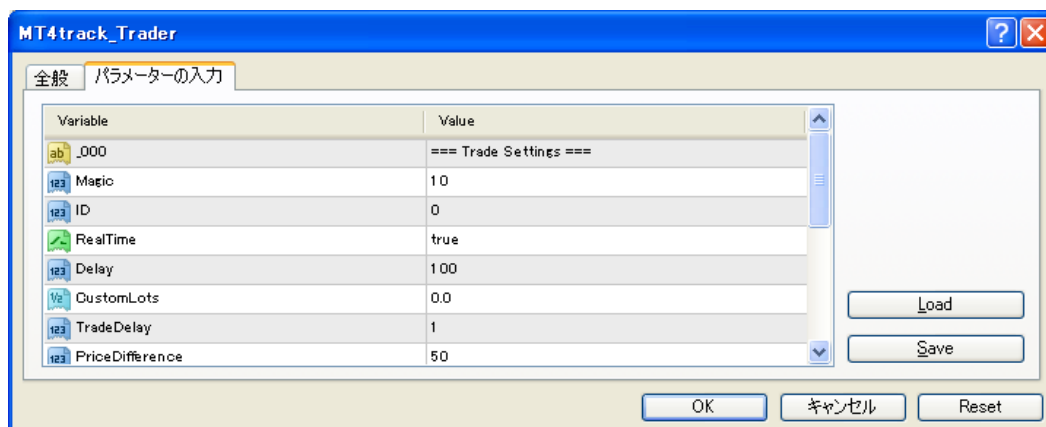
チャートを右クリックし、「Expert Advisors」→「Properties」をクリック、またはチャートを選択した状態で「F7」キーをクリックします。



パラメータ設定画面が出てきますので、値を変更し「OK」をクリックしてください。

即座にそのパラメータでの自動売買が開始します。

また、画面左下の「Reset」をクリックするとすべてのパラメータが初期値に戻ります。





## 追跡元のチャート左上に表示されるコメントについて

```
MT4track Ver1.06 更新日付 2009/06/12
ServerTime: 07:44:11 LocalTime: 13:44:12 ConnectionOK=1 TradeOK=1
すべてのトレードを追跡しています, ID=0
OrdersCount=1
=====現在のポジション情報=====
10490370 USDJPY BUY 1.86 97.85 2009.06.12 13:32:43
```

- 1 行目にはバージョン情報が表示されます。
- **ServerTime** : 業者のサーバ時間
- **LocalTime** : パソコンのローカル時間
- **ConnectionOK** : 業者のサーバと接続されているかを表します。
  - 1 : サーバと接続されています。
  - 0 : サーバとの接続が切断されています。
- **TradeOK** : 現在トレード可能状態かどうかを表します。一時的に 0 になる場合は問題ありません。ですが、0 が数分以上続く場合は再ログインすることを推奨します。
  - 1 : トレードが可能な状態です。
  - 0 : EA が注文中または、注文を行ったがサーバからの応答がない時など
- **すべてのトレードを追跡しています。ID=0**
  - パラメータ「AllTrade」=「true」の場合に表示されます。OnlySetPairs が true の場合は、先頭に通貨ペア名が表示されます。
- **MagicNumber=00のトレードを追跡しています。ID=0**
  - パラメータ「AllTrade」=「false」の場合に表示されます。OnlySetPairs が true の場合は、先頭に通貨ペア名が表示されます。
- **OrdersCount** : 現在追跡対象となっているトレード数を表示します。
- **現在のポジション情報**
  - 注文番号、通貨ペア、注文種別、ロット数、オープンブライズ、ポジションをオープンした時間(パソコンのローカル時間)の順に表示します。

## 追跡先のチャート左上に表示されるコメントについて

```
MT4track_Trader Ver1.06 更新日付 2009/06/12
ServerTime: 07:33:27 LocalTime: 13:33:29 ConnectionOK=1 TradeOK=1
MagicNumber=20090501 ID=0 ReverseSignal有効 指値注文は約定後に追跡
MM Risk=2 Next Lots USDJPYx:1.94
OrderCount=2
=====追跡元のポジション情報=====
53495672 USDJPY BUY 0.20 97.868 2009.06.12 13:32:35 OK 10490360
53495683 USDJPY SELL 0.60 97.835 2009.06.12 13:32:42 OK 10490370

=====トレードログ=====
2009.06.12 13:33:21 ポジションをクローズしました。注文番号:10490361 追跡元注文番号:53495677
2009.06.12 13:33:21 ポジションをクローズしました。注文番号:10490377 追跡元注文番号:53495692
```

- 1行目にはバージョン情報が表示されます。
- **ServerTime** : 業者のサーバ時間
- **LocalTime** : パソコンのローカル時間
- **ConnectionOK** : 業者のサーバと接続されているかを表します。
  - 1 : サーバと接続されています。
  - 0 : サーバとの接続が切断されています。
- **TradeOK** : 現在トレード可能状態かどうかを表します。一時的に 0 になる場合は問題ありませんが、0 が数分以上続く場合は再ログインすることを推奨します。
  - 1 : トレードが可能な状態です。
  - 0 : EA が注文中または、注文を行ったがサーバからの応答がない時など
- **MagicNumber** : パラメータ「Magic」に設定されている値を表示
- **ID** : パラメータ「ID」に設定されている値を表示
- **ReverseSignal 有効** : パラメータ ReverseSignal が true の時に表示されます。
- **指値注文は約定後に追跡** : パラメータ MarketOrder が true の時に表示されます。
- **トレイリングストップ有効** : パラメータ「TrailingStop」が true の時に表示されます。
- **MM Risk** : パラメータ MM が true の場合に、パラメータ Risk の値が表示されます。
- **Next Lots** : パラメータ MM が true で、パラメータ MMCurPair に通貨ペアが指定されている場合に、次回注文のロット数が表示されます。
- **OrderCount** : 現在追跡して売買しているポジション数を表示します。エラー等により注文が失敗したポジションや、保留中のポジションは含まれません。

追跡元のポジション情報の部分には、追跡元と同じ内容が表示されますが、赤で囲まれた部分が追加されます。

追跡が成功した場合→「OK」の表示と追跡先の注文番号が表示

追跡が失敗した場合→「NG」の表示とエラー内容が表示

```
ServerTime: 03:42:35 LocalTime: 09:42:27
OrderCount=3
=====追跡元のポジション情報=====
45388921 EURGBP SELL 0.01 0.89796 2009.04.14 09:41:05 OK 67241038
45388919 EURGBP BUY 0.01 0.89826 2009.04.14 09:41:04 OK 67241040
45388872 EURUSD BUY 0.01 1.33360 2009.04.14 09:40:26 NG 時間経過
45388993 EURJPY BUY 0.01 133.748 2009.04.14 09:41:55 OK 67241044
```

また、パラメータ「PriceDifMode」を「3」または「4」に設定している場合には、設定した有利な価格になるか、NG 時間経過になるまで監視中の表示が追加されます。

監視中の右側には、追跡元のオープン価格と追跡先の現在の価格を比較した pips と何 pips プラスになったら売買するか、の売買目標 pips が表示されます。

```
=====追跡元のポジション情報=====
47838317 EURUSD BUY 0.01 1.32589 2009.05.01 13:52:57 NG 時間経過
47838373 EURGBP SELL 0.01 0.89746 2009.05.01 13:54:58 監視中 10.0pips 売買目標:50pips
47838374 EURGBP BUY 0.01 0.89776 2009.05.01 13:54:59 監視中 -23.0pips 売買目標:50pips
47838375 EURGBP BUY 0.01 0.89776 2009.05.01 13:55:00 監視中 -23.0pips 売買目標:50pips
47838402 USDJPY BUY 0.01 98.788 2009.05.01 13:56:07 監視中 -2.0pips 売買目標:50pips
47838461 USDJPY BUY 0.01 98.795 2009.05.01 13:57:54 監視中 5.0pips 売買目標:50pips
47838464 USDJPY BUY 0.01 98.802 2009.05.01 13:57:55 監視中 12.0pips 売買目標:50pips
47838563 EURGBP BUY 0.01 0.89785 2009.05.01 13:58:51 監視中 -14.0pips 売買目標:50pips
47838565 EURGBP BUY 0.01 0.89785 2009.05.01 13:58:51 監視中 -14.0pips 売買目標:50pips
47838573 USDJPY BUY 0.01 98.802 2009.05.01 13:58:58 監視中 12.0pips 売買目標:50pips
```

追跡元ポジション情報の下にはトレードログが表示されます。

エラーが発生した場合や、ポジションのオープン、クローズ、T/P や S/L の変更のログが表示されます。左側に表示される発生した時間はお使いのパソコンのローカル時間です。

```
=====トレードログ=====
2009.04.14 09:42:04 MT4Track_Traderが読み込まれました。
2009.04.14 09:41:56 ポジションをオープンしました。注文番号:67241044
2009.04.14 09:41:43 ポジションをオープンしました。注文番号:67241040
2009.04.14 09:41:43 ポジションをオープンしました。注文番号:67241038
2009.04.14 09:41:40 注文から1分経過している為、注文は無視されました。45388872 EURUSD BUY
2009.04.14 09:38:40 ポジションをクローズしました。注文番号:67240739
2009.04.14 09:38:40 ポジションをクローズしました。注文番号:67240760
2009.04.14 09:38:37 ポジションをクローズしました。注文番号:67240737
2009.04.14 09:38:05 ポジションをクローズしました。注文番号:67240704
2009.04.14 09:37:07 ポジションをクローズしました。注文番号:67240651
2009.04.14 09:36:58 ポジションをオープンしました。注文番号:67240760
```

## エラーについて

トレードの追跡が失敗した場合には、追跡先のチャートの左上のポジション情報欄に、エラーが表示されます。

```
45634549 EURGBP SELL 0.01 0.89044 2009.04.15 12:41:17 NG 時間経過
45634598 EURJPY SELL 0.01 130.449 2009.04.15 12:42:14 OK 67369565
45634646 EURJPY SELL 0.01 130.438 2009.04.15 12:43:05 OK 67369566
45634653 USDJPY BUY 0.01 98.502 2009.04.15 12:43:14 OK 67369570
45634654 USDJPY BUY 0.01 98.502 2009.04.15 12:43:16 OK 67369572
```

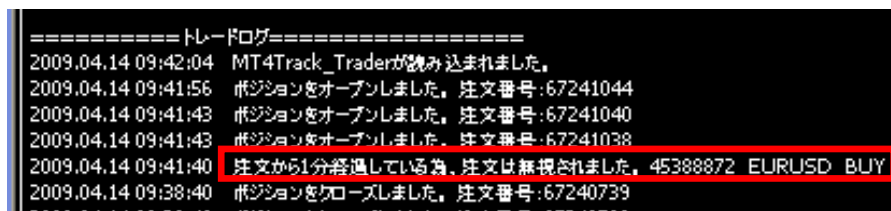
### ・エラー内容一覧

通貨ペアが存在しない	追跡先に対象の通貨ペアが存在しない場合に表示されます。
時間経過	「TradeDelay」に設定した時間以上経過した場合に表示されます。
無効なロット数	注文できないロット数の場合に表示されます。
価格差	「PriceDifMode」を「1」に設定していて、価格が設定したPips以上離れていた場合に表示されます。
不利な価格	「PriceDifMode」を「2」に設定していて、不利な価格だった場合に表示されます。
注文エラー	なんらかの注文エラーが発生した場合に表示されます。
無効な T/P S/L 指値	TakeProft または StopLoss または指値が、設定できない価格で注文された場合に表示されます。
スプレッド	SpreadCheck 機能にて設定した値以上のスプレッドの場合に表示されます。
追跡対象以外の通貨ペア	CurrencyFilter機能にて設定した通貨ペア以外の通貨ペアだった場合に表示されます。
取引時間外	「TimeFilter」、「MondayFilter」、「FridayFilter」等で設定した取引可能時間帯以外の場合に表示されます。
買い注文制限	「BuyOrder」を「false」と設定すると、買いポジションに表示されます。
売り注文制限	「SellOrder」を「false」と設定すると、売りポジションに表示されます
新規注文停止中	「OrderStop」機能にて注文が制限されている場合に表示されます。
ロット制限	「LotFilter」機能にて注文が無視された場合に表示されます。

- ・トレードログに表示されるエラー内容について

注文がエラーとなった場合には、詳細がトレードログ領域に表示されます。

内容は、エラー内容、追跡元の注文番号、通貨ペア、BUYorSell が表示されます。



```
=====トレードログ=====
2009.04.14 09:42:04 MT4Track_Traderが読み込まれました。
2009.04.14 09:41:56 ポジションをオープンしました。注文番号:67241044
2009.04.14 09:41:43 ポジションをオープンしました。注文番号:67241040
2009.04.14 09:41:43 ポジションをオープンしました。注文番号:67241038
2009.04.14 09:41:40 注文から1分経過している為、注文は無視されました。45388872 EURUSD BUY
2009.04.14 09:38:40 ポジションをクローズしました。注文番号:67240739
2009.04.14 09:38:40 ポジションをクローズしました。注文番号:67240739
```

## 使用期限について

使用期限が過ぎる 1 週間前から、チャート左上に使用期限が切れるまでの時間が表示されます。使用期限が過ぎますと、MT4track の動作が停止しますので、使用期限が近づいてきましたら、会員サイトから最新の MT4track をダウンロード頂き、アップデートをお願い致します。毎月 1 日から使用期限が切れる日までの間に、翌月までご利用いただける MT4track を会員サイトにアップロードしております。



## アップデートする場合の注意点

アップデートは MetaTrader4 を終了した状態で行ってください。追跡売買中の場合は、すべてのポジションが決済された後にアップデートしてください。

また、一部のファイルだけ入れ替えを行うと誤動作の原因となりますので、experts フォルダごと上書きしてください。

## ポジション保有状態で終了する場合の注意事項

MT4track では MetaTrader4 を終了しても、追跡元のポジション情報は保持されます。その為、追跡元がポジション保有中の状態のまま終了した場合、終了した時点の追跡元のポジション情報が残ったままになります。その状態で、追跡先の MT4track\_Trader が動作すると、残っているポジション情報を読み込んでしまい、誤ったポジションを取ってしまう場合がありますので、**先に追跡元の MT4track を稼働して、以前のポジション情報がクリアされたことを確認した後に、追跡先の MT4track\_Trader を稼働してください。**

## 6. パラメータについて

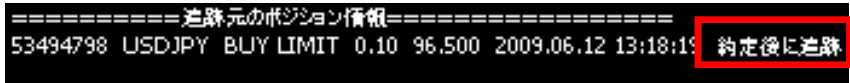
### 追跡元「MT4track」のパラメータ

基本設定	
AllTrade	特定のマジックナンバーの売買を追跡する場合は「false」を設定 すべてのトレードを追跡する場合は「true」を設定します。
ExcludeMagic	パラメータ「AllTrade」が「false」の場合に設定が必要です。 「false」: パラメータ「Magic」～「Magic10」に設定したマジックナンバーの売買のみ追跡対象とします。 「true」: パラメータ「Magic」～「Magic10」に設定したマジックナンバー以外の売買を追跡対象とします。
Magic ～Magic10	パラメータ「AllTrade」が「false」の場合に設定が必要です。 追跡対象または追跡対象外(パラメータ「ExcludeMagic」の設定による)とするマジックナンバーを指定します。 最大で 10 個設定できます。設定しない項目には「-1」を設定してください。
OnlySetPairs	MT4track をセットしたチャートの通貨ペアの売買のみ追跡します。
ID	MT4track を複数稼働させる場合に、それぞれの売買を識別する為の番号を指定します。 追跡元と、追跡先で同じ ID を設定する必要があります。 詳しくは <a href="#">IDについて</a> を参照してください。
RealTime	パラメータ「TaskCycle」で設定した周期毎に売買状況を確認する場合には「true」を設定し、 tick が動くごとに売買状況を確認する場合には「false」を設定します。 推奨は「true」となります。
TaskCycle	パラメータ「RealTime」が「true」の場合に、何ミリ秒毎に売買状況を確認するかを指定します。 単位はミリ秒となりますので、1000=1 秒となります。 推奨は 500 (0.5 秒) です。

## 追跡先「MT4track\_Trader」のパラメータ

基本設定	
Email	<p>true に設定すると、ポジションオープン、指値注文予約の約定、クローズ時にメールが送信されます。</p> <p>この機能を使用する場合は、MetaTrader4 のメール設定を行う必要があります。詳細は「<a href="#">メール送信機能について</a>」をご確認ください。</p>
Alerts	<p>true に設定すると、ポジションオープン、クローズ時にアラートが鳴ります。</p>
Magic	<p>MT4track にて売買されたポジションには、ここで設定したマジックナンバーが設定されます。0 と設定すると手動での取引と干渉しますので、0 以外を指定してください。</p> <p><b>MT4track_Trader を複数稼働する場合には、他の MT4track_Trader と重複しない値を設定してください。</b></p>
ID	<p>MT4track を複数稼働させる場合に、それぞれの売買を識別する為の番号を指定します。</p> <p>追跡元と、追跡先で同じ ID を設定する必要があります。</p> <p><b>詳しくは<a href="#">IDについて</a>を参照してください。</b></p>
RealTime	<p>パラメータ「TaskCycle」で設定した周期毎に売買状況を確認する場合には「true」</p> <p>tick が動くごとに売買状況を確認する場合には「false」を設定します。</p> <p>推奨は「true」となります。</p>
TaskCycle	<p>パラメータ「RealTime」が「true」の場合に、何ミリ秒毎に売買状況を確認するかを指定します。</p> <p>単位はミリ秒となりますので、1000=1 秒となります。</p> <p>推奨は 500 (0.5 秒) です。</p>



トレード設定	
Slippage	<p>スリッページを pips で設定します。</p> <p>スリッページとは、注文を出した値段で約定せずに不利なレートにずれて約定されてしまうことです。注文時にこのスリッページを指定することで、不利なレートへのずれの許容範囲を指定します。</p> <p>よくわからない場合には、初期値のままで問題ございません。</p>
TradeDelay	<p>設定した時間が経過した売買を無視します。</p> <p>単位は分です。</p> <p>1 を設定すると、売買が行われてから 1 分以上経過した後に検知した売買は追跡しません。</p>
MarketOrder	<p>追跡元で指値注文が発注された場合の追跡方法を設定します。</p> <p>false : 追跡元と同様に追跡先でも指値注文を行います。</p> <p>true : 追跡元で指値注文が約定後に、成行で追跡します。</p> <p>追跡元約定するまで、追跡先のチャート左上のコメントには「約定後に追跡」と表示されます。</p> 
ReverseSignal	<p>追跡元のトレードを反転してトレードする場合には true を設定します。</p>

カスタムロット設定	
CustomLots	<p>追跡元と異なるロット数で売買する場合には、ここにロット数を設定してください。</p> <p>「0」を設定すると、追跡元と同じロット数で売買します。</p>
LotMultiple	<p>追跡元のロット数の n 倍のロット数で取引したい場合には、ここに何倍にして売買するかを設定してください。この機能を利用する場合には、CustomLots=0、MM=false になっている必要があります。</p> <p>また、n 倍した結果が、注文できる最小ロット数より小さい場合は、最小ロット数に置き換えられます。</p> <p>例 LotMultiple=2 追跡元の 2 倍のロット数で注文  LotMultiple=0.1 追跡元の 10 分の 1 のロット数で注文</p>
MM	<p>ロット数を証拠金に応じて自動調整して売買する場合 true に設定します。true に設定した場合、CustomLots、LotMultiple の設定は無視されます。</p> <p>証拠金が\$5000 で「Risk」=2 と設定した場合、  <math>5000 \times 0.02 = \\$100</math> の証拠金で注文できる最大のロット数で注文されます。</p> <p>このパラメータを true に設定すると、チャート上に次回注文のロット数が表示されます。</p>
MarginType	<p>MM で算出対象となる証拠金の種類を指定します。</p> <p>0：余剰証拠金を基準にロット数を算出します。  1：有効証拠金を基準にロット数を算出します。</p>
Risk	<p>MM 機能を true にした場合に、口座残高の何%を使用してロット数を算出するかを設定します。</p>

MinLotSize	<p>追跡元のロット数、LotMultiple または MM で算出されるロット数が、ここで指定したロット数より小さい場合には、ここで指定したロット数に置き換えて注文されます。</p> <p>この機能を使用しない場合には、0 を設定してください。</p>
MaxLotSize	<p>追跡元のロット数、LotMultiple または MM で算出されるロット数が、ここで指定したロット数より大きい場合には、ここで指定したロット数に置き換えて注文されます。</p> <p>この機能を使用しない場合には、0 を設定してください。</p>
Rounding	<p>追跡元のロット数、LotMultiple で算出されるロット数を、お使いのブローカーの最小ロット数単位、または Unit で指定した単位にて四捨五入、切り捨て、切り上げするかを選択します。</p> <p>0 : そのままのロット数 1 : 四捨五入 2 : 切り捨て 3 : 切り上げ</p> <p>例 追跡元で 0.15 ロットの注文があった場合に追跡先の最小ロット単位が 0.1 ロット(または Unit に 0.1 を指定)の場合</p> <p>0 を設定すると追跡先で注文できないロットの為エラーとなります。 1 を設定すると 0.2 ロットで注文されます。 2 を設定すると 0.1 ロットで注文されます。 3 を設定すると 0.2 ロットで注文されます。</p>
Unit	<p>Rounding にて四捨五入、切り捨て、切り上げする単位を指定します。</p> <p>0 を指定すると追跡先の最小ロット単位にて四捨五入等が行われますが、別途指定したい場合にはここで四捨五入等する単位を指定してください。</p> <p>10、1、0.1、0.01 等のように四捨五入等をしたい位を指定します。</p> <p>例えば追跡先の最小ロット単位は 0.01 だが 0.1 の位にて四捨五入等して注文したい場合 0.1 を指定します。</p>

価格差設定	
PriceDifMode	<p>追跡元と追跡先の価格差を、どのように扱うか 0～4 の値で設定します。</p> <p>0：価格差は無視して即時に売買します。</p> <p>1：PriceDifference に設定した範囲の価格差のときのみ売買します。 (範囲外の時は売買を無視して追跡売買しません)</p> <p>2：価格が有利な時のみ売買します。 (価格が不利な時は売買を無視して追跡売買しません)</p> <p>3：TradeDelay に設定された時間監視して、「PriceAdvantage」に設定した pips 分有利または不利な価格になったら売買します。 TradeDelay に設定された時間が経過した場合は売買を見送ります。</p> <p>4：TradeDelay に設定された時間監視して、「追跡元と追跡先のスプレッド差×2」分有利になったら売買します。追跡先のスプレッドの方が有利な場合は即時に追跡売買します。TradeDelay に設定された時間が経過した場合は売買を見送ります。</p> <p>※この機能は成行注文に対してのみ有効です。指値注文に対しては無効になります。</p>
PriceDifference	<p>パラメータ「PriceDifMode」=1 の時に設定が必要になります。</p> <p>追跡元のオープン価格と、追跡先の価格を比較して、ここで設定した pips 以上離れていた場合は、その売買を追跡しません。</p> <p>pip は追跡先の pip を基準にしています。</p>
PriceAdvantage	<p>パラメータ「PriceDifMode」=3 の時に設定が必要になります。</p> <p>プラスの値を指定すると、追跡元の価格より設定した pips 有利になったら売買し、マイナスの値を指定すると追跡元の価格より設定した pips 不利になったら売買します。</p> <p>pip は追跡先の pip を基準にしています。</p>

TakeProfit StopLoss 設定	
TPSLMode	<p>TakeProfit と StopLoss の設定方法を 0～2 の値で選択してください。</p> <p>0 : TakeProfit、StopLoss を追跡元と同様に設定し、その後変更された場合は同様に変更します。(トレイリングストップが有効の場合約定中の注文の T/P、S/L 変更は無効となります。)</p> <p>1 : TakeProfit と StopLoss を追跡元と同様に注文時に設定しますが、その後の変更があった場合は追跡しません。</p> <p>2 : TakeProfit と StopLoss を独自に設定します。</p>
CustomTP	<p>パラメータ「TPSLMode」を「2」に設定した場合には、ここに TakeProfit を pips で設定してください。</p> <p>「-1」を設定すると、追跡元と同じ TP が設定されます。</p>
CustomSL	<p>パラメータ「TPSLMode」を「2」に設定した場合には、ここに StopLoss を pips で設定してください。</p> <p>「-1」を設定すると、追跡元と同じ SL が設定されます。</p>
ECN	<p>true に設定すると、発注時は TP、SL を設定せず、約定後に変更にて TP、SL を設定する 2 段階の発注を行います。</p> <p>成行注文で TP、SL を設定できないブローカーの場合はこのパラメータを true に設定してください。</p>

決済設定	
TrailingStop	<p>トレイリングストップ機能を有効にする場合は「true」に設定します。</p> <p>※トレイリングストップの仕様について</p> <p>LimitLine に達した時点で、一つ前の LimitLine にストップを移動します。つまり、LimitLine2 に達した時点で、LimitLine1 の位置へストップが移動。LimitLine3 に達した時点で LimitLine2 の位置へストップが移動。同様に LimitLine10 に達するまでストップ位置を移動していきます。</p> <p>パラメータ「CloseLimitLine」に、LimitLine の番号を指定することで、その LimitLine に達した時点で決済されます。</p>
CloseLimitLine	<p>パラメータ「LimitLine1～10」のどのラインに達した場合に強制的に決済するかを指定します。1～10 で指定してください。</p>
LimitLine1～ LimitLine10	<p>トレイリングストップにて、ストップを変更する位置を pips で指定します。マイナスでの指定も可能です。</p> <p>例</p> <p>LimitLine1=-50pips LimitLine2=0pips LimitLine3=50pips, LimitLine4=100pips CloseLimitLine=4</p> <p>として買い注文(USDJPY OpenPrice=90.00)を行った場合 利益が 0pips(スプレッド分プラス)になった時点で 89.50(90.00-50pips)にストップが移動 利益が 50pips になった時点で 90.00(90.00+0pips)にストップが移動 利益が 100pips になった時点で CloseLimitLine により決済 となります。</p>

決済設定	
CloseMode	<p>ポジションのクローズ方法について選択してください。</p> <p>0 : 追跡元が決済した場合に決済します。</p> <p>1 : TakeProfit、StopLoss にヒットするまで決済しません。</p>
CloseSetTime	<p>true に設定すると、「CloseDayOfWeek」「CloseHour」「CloseMinute」で設定した時間に、強制的にポジションをクローズします。</p> <p>更に、設定した時間以降は、追跡元で取引があっても、ポジションは無視されます。</p> <p>また、true に設定するとチャートには設定時間が表示されます。</p> <pre>ServerTime: 05:51:17[Tue] LocalTime: 12:51:10[Tue] Connect MagicNumber=20090501 ID=0 CloseSetTime=22:50:00[Fri]</pre> <p>この機能を使用しない場合は、false を設定してください。</p>
CloseDayOfWeek	<p>「CloseSetTime」を true に設定した場合に、曜日、時、分を<b>業者のサーバ時間(チャートに表示される時間)</b>で指定します。</p> <p>「CloseDayOfWeek」には、番号で曜日を指定します。 (0:日曜日、1:月曜日、2:火曜日、3:水曜日 4:木曜日、5:金曜日、6:土曜日)</p> <p>「CloseHour」には、時間を 0~23 の範囲内で指定します。 「CloseMinute」には、分を 0~59 の範囲内で指定します。</p> <p>例 業者のサーバ時間が金曜日 22 時 50 分にポジションを強制的に決済する</p> <p>「CloseSetTime」=true 「CloseDayOfWeek」=5 「CloseHour」=22 「CloseMinute」=50</p>
CloseHour	
CloseMinute	

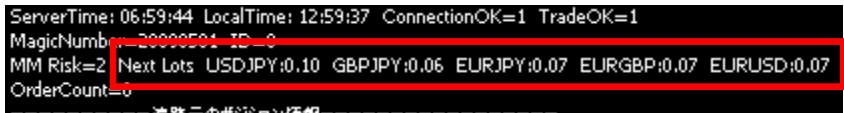
オーダーストップ設定	
OrderStop	<p>設定した連勝数、連敗数に達した時に、新規注文を停止したい場合は true に設定します。</p> <p>この機能を使用しない場合には false に設定してください。</p> <p>勝ち負けの判定は、利益が 0 より大きかった場合勝ち、利益が 0 以下だった場合は負けと判定します。（スワップ、手数料も含めた利益）</p> <p>設定した連敗数、連勝数に達した場合はチャート左上に停止中の情報が表示されます。</p> <p><b>設定した連敗数に達した為、新規注文を60分間停止しています。トレード可能時間まで30分</b></p> <p>例 1 1 時間内に 2 連勝または 2 連敗した場合に、新規注文を 2 時間停止する。</p> <p>「OrderStop」=true, 「ResetMin」=60, 「OrderStopMin」=120 「Win」=2, 「Lose」=2</p> <p>例 2 負けが発生した場合に、6 時間新規注文を停止する</p> <p>「OrderStop」=true, 「OrderStopMin」=360 「Win」=0, 「Lose」=1</p>
ResetMin	<p>「Win」「Lose」に 2 以上の値を設定する場合に、何分以内の連続した勝ち、負けを連勝、連敗と判定するかを分単位で指定します。</p> <p>つまり、ここに設定した時間経過すると、連敗数、連勝数の情報がリセットされます。</p>
OrderStopMin	<p>設定した連勝数、連敗数に達した時に、新規注文を何分間停止するかを分単位で指定します。</p>
Win	<p>連勝数を指定します。</p> <p>0 を指定すると連勝数による新規注文の停止が無効になります。</p>
Lose	<p>連敗数を指定します。</p> <p>0 を指定すると連敗数による新規注文の停止が無効になります。</p>



スプレッドフィルタ設定	
SpreadCheck	<p>スプレッドが指定値以上になった場合に取引を制限する機能です。</p> <p>「SpreadCheck」を true にし、「SpreadPoint」にスプレッド値(pips 指定)を設定すると、追跡対象の通貨ペアのスプレッドが「SpreadPoint」に設定した値以上となっている時は売買しません。</p> <p>この機能を使用しない場合は「SpreadCheck」を false に設定してください。</p>
SpreadPoint	<p>例 通常スプレッド 2pips で、それより大きくなったら取引を制限する場合</p> <p>「SpreadCheck」 = true  「SpreadCheck」 = 3</p>
通貨ペアフィルタ設定	
CurrencyFilter	<p>特定の通貨ペアのみ追跡したい場合は「true」に設定し、CurrencyPair1～CurrencyPair5 に対象の通貨ペア名を設定してください。</p> <p>「CurrencyFilter」 = true  「CurrencyPair1」 = EURUSD  「CurrencyPair2」 = USDJPY</p>
CurrencyPair1 CurrencyPair2 CurrencyPair3 CurrencyPair4 CurrencyPair5	<p>と設定すると EURUSD と USDJPY のみが追跡対象となります。</p> <p><b>業者によって通貨ペア名の後ろに文字が付け加えられている場合がありますので、付け加えられている文字も含めて設定してください。</b></p>

時間フィルタ設定	
LocalTimeZone	<p>時間フィルタ機能の時間指定をどのタイムゾーンで指定するか選択します。</p> <p>「true」：お使いのパソコンの時間で時間を設定します。お使いのパソコンが日本時間に設定されていれば、日本時間で指定できます。</p> <p>「false」：業者のサーバ時間(チャートに表示される時間)で時間を設定します。</p>
TimeFilter	<p>指定時間帯のみ追跡売買を許可するフィルタ機能です。</p>
StartTime	<p>有効にするには「TimeFilter」を「true」に設定し、「StartTime」に開始時間、「EndTime」には終了時間を指定します。「TimeFilter」を「false」に設定するとこの機能は無効になります。</p>
EndTime	<p>例 業者のサーバ時間 10 時～12 時(10:00:00～11:59:59)まで追跡を行う場合は以下のように設定します。</p> <p>「LocalTimeZone」=false 「TimeFilter」=true 「StartTime」=10 「EndTime」=12</p>

MondayFilter	<p>月曜は指定時間まで追跡売買を停止するフィルタ機能です。</p> <p>「MondayFilter」を「true」に設定するとこの機能が有効になり、「false」に設定すると無効になります。</p>
MondayTime	<p>例 月曜はサーバ時間3時以降に取引を開始したい場合は次のように設定します。</p> <p>「LocalTimeZone」=false 「MondayFilter」=true 「MondayTime」=3</p>
FridayFilter	<p>金曜は指定時間以降、追跡売買を停止するフィルタ機能です。</p> <p>「FridayFilter」を「true」に設定するとこの機能が有効になり、「false」に設定すると無効になります。</p>
FridayTime	<p>例 金曜は業者のサーバ時間3時以降は取引を停止したい場合は次のように設定します。</p> <p>「LocalTimeZone」=false 「FridayTime」=true 「MondayTime」=3</p>
売買種別フィルタ設定	
BuyOrder	「false」に設定すると、買い注文の追跡売買を行いません。
SellOrder	「false」に設定すると、売り注文の追跡売買を行いません。
ロットフィルタ設定	
LotFilter	<p>設定したロット数より小さいロットでの追跡元の注文を無視します。</p> <p>「LotFilter」=0.1と設定すると、追跡元で0.01ロットや0.09ロット等、0.1より小さいロット数での注文は追跡しないようになります。</p>
LotFilter2	<p>設定したロット数より大きいロットでの追跡元の注文を無視します。</p> <p>「LotFilter2」=0.1と設定すると、追跡元で0.11ロットや0.2ロット等、0.1より大きいロット数での注文は追跡しないようになります。</p>

サウンドアラート設定	
SoundAlerts	<p>新規注文、決済、注文エラー、注文再試行、注文変更が発生した際に音を鳴らす場合には true を設定します。</p> <p>この機能を使用しない場合には false に設定してください。</p> <p>「OpenSound」「CloseSound」「OrderErrorSound」「RetryOrderSound」「OrderModifySound」のパラメータにて、それぞれの状況毎に別々の wav ファイルを指定できます。wav ファイルは MetaTrader4 をインストールしたフォルダの下の sounds フォルダにあります。個別に音を鳴らしたくない場合には、wav ファイル名を指定せず、空欄にしてください。</p>
OpenSound	新規注文時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
CloseSound	<p>注文決済時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。</p> <p>注：追跡先でリミット、ストップによって決済された場合には対応していません。</p>
OrderErrorSound	注文エラー時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
RetryOrderSound	注文再試行時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
OrderModifySound	注文変更時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
MM ラベル設定	
MMCurPair1～ MMCurPair5	<p>MM を true に設定した際、次回注文ロット数を確認したい場合には、ここに通貨ペア名を設定してください。</p> <p>指定した通貨ペアのロット数がチャート上に表示されます。</p>  <p>業者によって通貨ペア名の後ろに文字が付け加えられている場合がありますので、付け加えられている文字も含めて設定してください。</p>

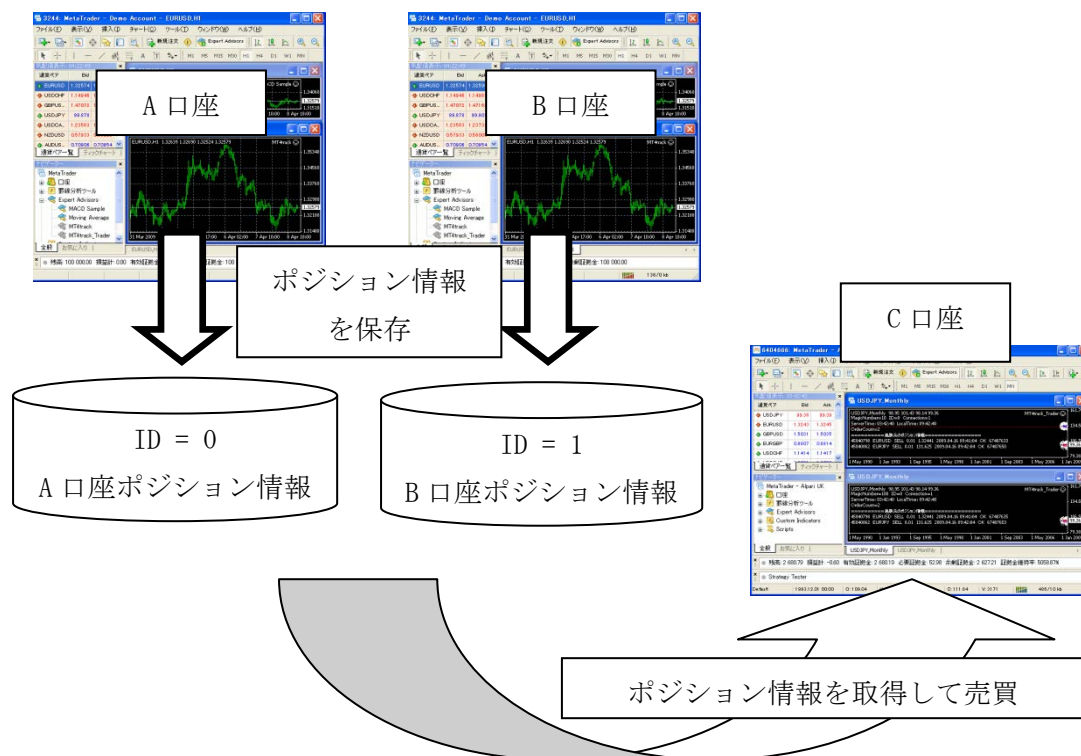
## IDについて

MT4track は追跡元ポジション情報をパソコン内部に保存し、その情報を基に追跡先にて売買します。パラメータ「ID」には、そのポジション情報を保存する場所を指定します。

1 : 1 や 1 : 多 というように、追跡元の MT4track が一つの場合には ID は初期値のまま変更する必要はありません。しかし、**追跡元 MT4track を複数稼働する多 : 多にて追跡を行う場合には、追跡元のそれぞれの MT4track の「ID」を異なるものに設定する必要があります。**  
**追跡元の複数の MT4track に、誤って同じ「ID」を設定してしまうと、正しくポジション情報が取得できなくなりますのでご注意ください。**

例 A 口座と B 口座 2 つの売買を、C 口座で追跡する

【イメージ図】



【設定方法】

A 口座の MetaTrader4 に MT4track を組み込み、「ID」は 0 と設定します。

B 口座の MetaTrader4 に MT4track を組み込み、「ID」は 1 と設定します。

C 口座では、チャートを 2 つ表示し、それぞれに MT4track\_Trader を組み込みます。

1 つ目のチャートには A 口座の追跡用に「ID」を 0 に設定し組み込みます。

2 つ目のチャートには B 口座の追跡用に「ID」を 1 に設定し組み込みます。

また、「Magic」はそれぞれ異なる値に設定してください。

## 7. その他

### メール送信機能について

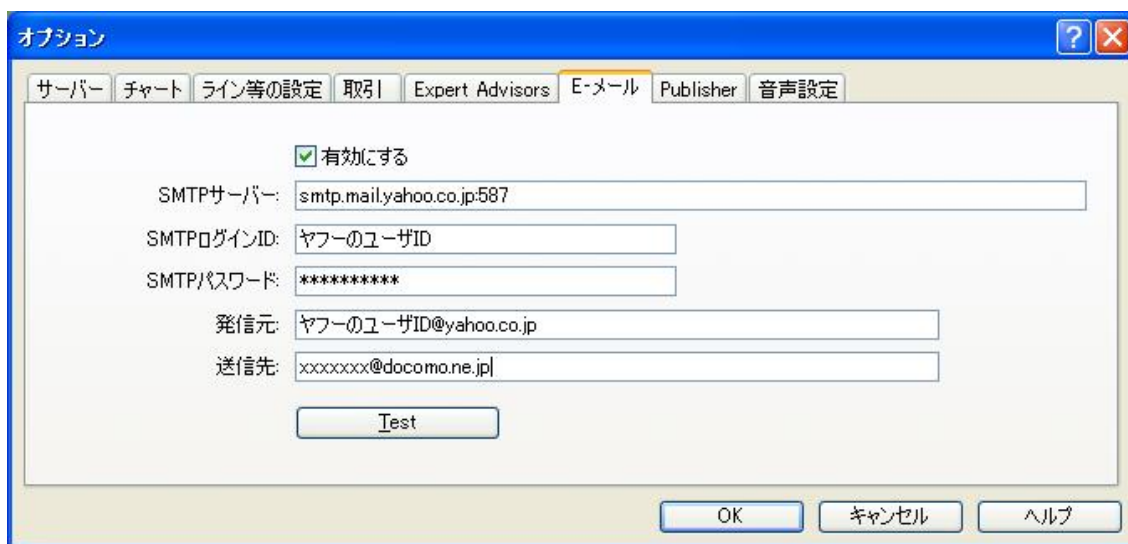
#### ・MetaTrader4 メール設定の方法

MT4track\_Trader のパラメータ「Email」については、true に設定しただけではメールが送信されませんので、MetaTrader4 にてメールの設定を行う必要があります。

Yahoo!メールを使用した設定方法をご説明いたします。(GMail については認証の関係で MetaTrader4 側が対応していない為、新規に Yahoo!メールのアカウントを作成して頂き Yahoo!メールをご利用下さい。)

①追跡先 MetaTrader4 のメニューバーの「ツール」→「オプション」を開きます。

②下記のような画面が出ますので、「E-メール」タブを選択してください。



③上記画像のように値をすべて設定します。

SMTP サーバー 「smtp.mail.yahoo.co.jp:587」

SMTP ログイン ID 「Yahoo!メールのユーザ ID」(xxxx@yahoo.co.jp の xxxx の部分)

SMTP パスワード 「Yahoo!メールのパスワード」

発信元 「Yahoo!のメールアドレス」

送信先 「メールを受信したいアドレス」(携帯のアドレス等)

④Test ボタンをクリックするとテストメールが送信されます。送信先に設定したメールアドレスにメールが届いているか確認してください。届いていれば設定完了です。届いていない場合には設定が間違っている可能性がございますので、再度設定を確認してください。

・メール送信機能で送信されるメール内容

新規注文、決済(成行決済、リミット決済、ストップ決済)、指値約定、指値キャンセルの場合にメールが送信されます。例として新規注文と成行決済時のメール内容をご紹介します。(メール内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。)

【新規注文】

件名：MT4track 新規注文

MT4track にて新規注文を行いました。

注文番号：82410843

通貨ペア：USDJPY

注文種別：SELL LIMIT

注文数量：0.01

レート：89.25

リミット：0.00

ストップ：0.00

口座残高：4721.10

業者：FXDirectDealer

【決済】

件名：MT4track 決済

MT4track にて決済を行いました。

注文番号：82410843

通貨ペア：USDJPY

注文種別：SELL

注文数量：0.01

オープン：89.25

クローズ：89.26

損益：-0.11

口座残高：4720.99

業者：FXDirectDealer

## 8. FAQ

**Q：EA をチャートに組み込むと、エラーが表示され、MetaTrader4 が強制的に終了してしまいます。**

A：MetaTrader4 のバージョンが古い場合に動作異常が発生します。

通常ですと MetaTrader4 起動時に自動でバージョンアップ警告が表示されるはずですがそれが表示されない場合は、業者のホームページから MetaTrader4 をダウンロードし、再インストール→バージョンアップを行ってください。

**Q：ポジション保有中に MT4track を停止する場合の注意点を教えてください。**

A：MetaTrader4 の再起動、パソコンの再起動等は、一時的なものであれば問題ありません。

再度 MetaTrader4 が起動した時にポジションを認識し、売買が継続されます。

ポジション保有中に完全に MT4track を停止する場合には、手動でポジションを決済して頂くか、T/P を手動で設定する等、自動でポジションが決済されるようにしてから終了してください。

**Q：スプレッドチェック機能は通貨ペア毎にスプレッド値を設定できないのでしょうか。**

A：残念ながら通貨ペア毎に設定はできません。全通貨ペア共通の設定となります。

**Q：過去に表示されたトレードログは見られませんか？**

A：チャート上のトレードログには直近のログしか表示されません。また、パラメータ変更や、再起動した場合には、表示がクリアされます。その為、過去のトレードログを確認する場合には、「MT4 のインストールフォルダ¥experts¥files¥MT4track」フォルダに、日毎のトレードログがテキスト形式で保存されていますので、そちらを確認してください。

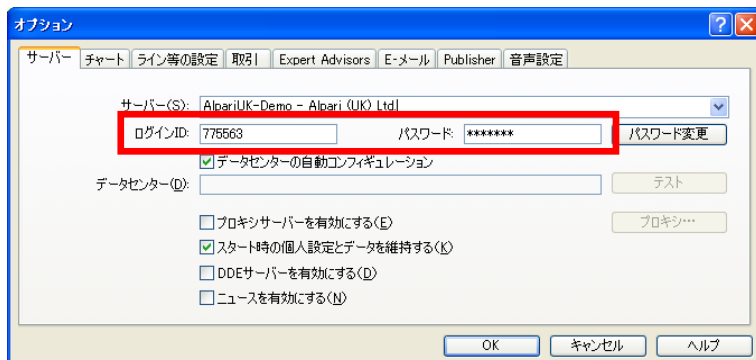
**Q：A 口座と B 口座の取引を追跡する場合、どちらも ID=0 として、MT4track を設定することで 2 つの口座のポジションが統合されて追跡できますか？**

A：できません。ID は別々の値を割り振って設定してください。



**Q：口座情報が公開されている口座を追跡売買するにはどうすればいいですか？**

A：売買履歴が公開されている口座と同じ業者の MetaTrader4 をインストールし、MetaTrader4 のメニューバーの「ツール」→「オプション」を表示しログイン情報を入力しログインしてください。



ログインしたら、適当な通貨ペアのチャートを表示し、MT4track をセットすることでポジション情報を取得できます。後は追跡先に MT4track\_Trader をセットすることで売買が可能です。

**Q：最大で同時に何個のポジションまで追跡できますか？**

A：MT4track にて同時に認識できる最大保有ポジション数は 50 トレードまでです。それ以上のポジションを保有した場合は、そのポジションは認識されません。これはパラメータ ID 毎の最大数ですので、ID を複数に分けて MT4track を稼働して頂ければ、無制限に追跡することができます。

**Q：ポジションを取った途端に決済されてしまいます。**

A：原因① 追跡元で複数の MT4track を稼働していて、すべての MT4track の「ID」を同じ値に設定している場合に発生します。「ID」を他の MT4track の値と重複しない値に変更してください。

原因② 追跡先で複数の MT4track\_Trader を稼働していて、すべての MT4track\_Trader の「Magic」が同じ値に設定されている場合に発生します。「Magic」を他の MT4track\_Trader の値と重複しない値に変更してください。

**Q：期限が切れたのでファイルを更新しましたが、期限が切れたままです。**

A：「MT4 をインストールしたフォルダ¥experts¥libraries」 フォルダ以外に MT4track.dll が存在しないかご確認頂き、あった場合は削除してください。

**Q：追跡元で一部のロットだけ決済(1 ロット中、0.5 ロットのみ決済等)した場合、追跡先のポジションがすべて決済され、新規ポジションを取得してしまいます。**

A：一部のロットの決済については残念ながら対応しておりません。将来的には対応を検討しております。

**Q：ReverseSignal で反転売買した場合に、T/P、S/L が数 pips ずれて設定されます。追跡元の T/P が追跡先の S/L に、追跡元の S/L が追跡先の T/P にそのままセットされるのではないのですか？**

A：買値(Ask)と売値(Bid)も反転しますので、そのままセットしてしまうと、決済される価格が異なってしまうことから、スプレッド分を反映して設定しています。また、スプレッドは追跡元のスプレッドを使用しています。

**Q：パソコン A で EA を稼働させ、パソコン B で追跡することはできないのでしょうか？**

A：MT4track は同一 PC 内でのみ稼働しますので、別のパソコンへの売買情報の受け渡しはできません。ですが、MetaTrader4 の口座は別々の PC から同時にログインできますので、以下の方法で追跡できます。

- ①パソコン A にて EA を稼働する
- ②パソコン B に、追跡元用の MT4(パソコン A で EA を稼働している業者と同じ業者の物)と追跡先用の MT4 をインストール
- ③パソコン B の追跡元用 MT4 にて、パソコン A で EA を稼働している口座にログインし、MT4track をセットする
- ④パソコン B の追跡先用 MT4 に MT4track\_Trader をセットする

以上で、パソコン A の売買をパソコン B で追跡できます。

**Q：指値注文を追跡している時に、追跡元の T/P、S/L、Price が変更になった場合、追跡先にも反映されますか？**

A：Price は常に追跡元と同じ値が反映されます。T/P、S/L については、TPSLMode が 0 か 1 に設定されている場合は追跡元と同じ値に変更されます。TPSLMode を 2 に設定している場合には、変更された Price を基に、CustomTP、CustomSL の値で T/P、S/L が再計算され設定されます。CustomTP、CustomSL に「-1」が設定されている場合は、追跡元と同じ値が設定されます。

**Q：トレイリングストップの値を変更した場合、注文中のポジションに反映されますか？**

A：反映されますが、変更した値によっては無駄な処理が発生する為、なるべく変更されないようお願いします。

**Q：解約をしたいのですがどのような手続きが必要ですか？**

A：インフォカートの購入者ログインページにログインし、購読しているメルマガのリストから、MT4track のメルマガを選び利用解除をクリックしてください。次月の使用料の課金は月末日に行われますので、月末日の前日までに解除をお願い致します。

**Q：月額使用料はどのように課金されるのでしょうか？**

A：インフォカートの説明ページをご確認ください。

<http://www.infocart.jp/help/1-4.html>

上記サイトの「購読開始時の課金について」はMT4track は次月無料となりますので、「当月は課金されるが2ヶ月目は無料」の所をご確認ください。

**Q：MT4track、MT4track\_Trader をチャートにセットしましたが、チャート左上にバージョン情報やポジション情報等の情報が表示されません。**

A：チャートにセットした後、価格の変動があると MT4track の動作が開始されますが、土日の FX 市場が閉じている間にセットした場合、価格の変動がない為 MT4track は動作しません。月曜に市場が開いて価格が配信され始めると MT4track が動作し、情報が表示されます。

**Q：MT4track、MT4track\_Trader をセットした MT4 にて「Do you permit to call function ~」という確認画面が表示され MT4track が動作しません。**

A：MT4 のオプション設定の Expert Advisors のタブにて「Confirm DLL function calls」がチェックされていることが原因です。確認画面が表示されている間は MT4track が動作致しませんので MT4 のチャートを一旦すべて閉じて頂き、MT4 オプション設定の Expert Advisors のタブを「[MetaTrader4 の設定](#)」の通りに変更して頂き、再度 MT4track をセットしてください。

**Q：MT4track\_Trader をセットしたチャートのトレードログに「T/P か S/L に無効な値が設定された為、注文がエラーになりました。」と表示されすべての注文が行われません。**

A：成行注文時に T/P、S/L が設定できないブローカーについては、MT4track\_Trader のパラメータ「ECN」を true に設定してください。

## 9. 設定例

### 例 1 A口座のすべての売買をB口座で追跡する

すべての売買を追跡する場合には MT4track、MT4track\_Trader 共にすべて初期値のまま変更せずにセットしてご利用頂けます。

この例では EA2 つの売買を追跡するという形でご説明します。

#### 【追跡元 A 口座】

EA1 用と EA2 用のチャート A とチャート B、MT4track 用のチャート C、計 3 つのチャートを表示し、EA と MT4track を以下のようにセットします。

- ・ EA1 をチャート A にセット
- ・ EA2 をチャート B にセット
- ・ チャート C に MT4track をパラメータ初期値のままセット

#### 【追跡先 B 口座】

MT4track\_Trader をパラメータ初期値のままセット

#### 【補足】

ここで、例えば B 口座で MT4track の追跡売買以外に、EA も動作させたいという場合には、MT4track\_Trader のパラメータ Magic の値に注意が必要です。

Magic(マジックナンバー)は、注文を特定する番号となっており、MT4track\_Trader の Magic と EA のマジックナンバーが重複してしまうと、MT4track\_Trader が EA の売買を誤って決済してしまう、または EA が MT4track\_Trader の売買を誤って決済してしまう場合があります。その為、追跡先で MT4track\_Trader 以外に EA を稼働する場合には、マジックナンバーが重複しないように設定をお願いします。

## 例 2 A口座のすべての売買をB口座とC口座で追跡する

例 1 と同じような設定方法となり、C 口座にも MT4track\_Trader をセットする作業が追加になります。この例では例 1 と同様に EA2 つの売買と、手動売買を追跡するという形でご説明します。

### 【追跡元 A 口座】

EA1 用と EA2 用のチャート A とチャート B、MT4track 用のチャート C、計 3 つのチャートを表示し、EA と MT4track を以下のようにセットします。

- ・ EA1 をチャート A にセット
- ・ EA2 をチャート B にセット
- ・ チャート C に MT4track をパラメータ初期値のままセット

### 【追跡先 B 口座】

MT4track\_Trader をパラメータ初期値のままセット

### 【追跡先 C 口座】

MT4track\_Trader をパラメータ初期値のままセット

### 【補足】

更に D 口座でも追跡したいという場合には、MT4track\_Trader を D 口座にも追加するだけで追跡できます。

### 例3 A口座の特定のEAの売買のみB口座にて追跡する

複数の EA を稼働していて、その中の特定の EA のみ追跡したい場合には、MT4track のパラメータにて AllTrade を false に設定し、Magic～Magic10 に追跡対象の EA のマジックナンバーを指定する必要があります。

この例では追跡元 A 口座で EA1～5 の 5 つの EA を稼働していて、その中の EA1 と EA2 の 2 つの売買を B 口座で追跡売買するという形でご説明します。

#### 【追跡元 A 口座】

既に EA がセットされている状態を前提としてご説明します。

MT4track 用にチャートを 1 つ追加で表示し、MT4track をセットします。

MT4track のパラメータを

AllTrade=false、Magic=EA1 のマジックナンバー、Magic2=EA2 のマジックナンバー

その他は初期値

と設定します。

#### 【追跡先 B 口座】

MT4track\_Trader をパラメータ初期値のままセット

#### 【補足】

AllTrade を false にして、Magic～Magic10 に追跡対象の EA のマジックナンバーを設定することで、対象の EA のみを追跡することができます。その為、上記の例では EA1 と EA2 の売買のみが B 口座で追跡売買されます。

また、この状態で MT4track のパラメータ「ExcludeMagic」を true に設定すると、Magic～Magic10 に設定したマジックナンバー以外の売買を追跡対象とすることができますので、上記の例ですと、EA3、EA4、EA5 の売買を追跡対象とすることができます。

#### 例 4 A口座とB口座のすべての売買をC口座で追跡する

2つの口座の売買を追跡する場合にはパラメータ ID の設定が必要になります。

この例では、A 口座の EA の売買と B 口座の EA の売買を C 口座で追跡するという形でご説明します。

##### 【追跡元 A 口座】

EA 用のチャート A、MT4track 用のチャート B の 2 つのチャートを表示し、EA と MT4track を以下のようにセットします。

- ・ EA をチャート A にセット
- ・ MT4track をチャート B にセット パラメータは ID=1、その他は初期値

##### 【追跡元 B 口座】

EA 用のチャート A、MT4track 用のチャート B の 2 つのチャートを表示し、EA と MT4track を以下のようにセットします。

- ・ EA をチャート A にセット
- ・ MT4track をチャート B にセット パラメータは ID=2、その他は初期値

##### 【追跡先 C 口座】

追跡先では A 口座追跡用のチャート A と、B 口座追跡用のチャート B の計 2 つのチャートを表示し以下のように MT4track\_Trader をセットします

- ・ チャート A に MT4track\_Trader をセット パラメータは ID=1、Magic=1、その他は初期値
- ・ チャート B に MT4track\_Trader をセット パラメータは ID=2、Magic=2、その他は初期値

##### 【補足】

ID=1 にて A 口座の売買を追跡、ID=2 にて B 口座の売買を追跡という形になります。

追跡先にて Magic=1、Magic=2 と異なる値に設定しているのは、2 つの MT4track\_Trader が例 1 の補足で説明したように、それぞれの売買が干渉しないようにする為です。重複しなければどのような値でもかまいませんが、わかりやすいように ID と同じ値を設定しています。

## 例5 A口座の複数のEAを異なる追跡設定にてB口座にて追跡する

複数の EA を稼働していて、1つは MM 機能、もう1つは固定ロットで追跡する場合や、T/P や S/L 等を EA 毎にそれぞれ独自設定で追跡したいという場合には、EA 毎に MT4track を設定する必要があります。その場合には、例4のように ID を割り振って設定を行います。

この例では追跡元 A 口座で EA1 と EA2 の2つの EA を稼働していて、それぞれ独自設定にて B 口座で追跡売買するという形でご説明します。

### 【追跡元 A 口座】

既に EA1 と EA2 がセットされている状態を前提としてご説明します。

- EA1 追跡用のチャートを開き、MT4track をセット  
パラメータは AllTrade=false、ID=1、Magic=EA1 のマジックナンバー、その他は初期値
- EA2 追跡用のチャートを開き、MT4track をセット  
パラメータは AllTrade=false、ID=2、Magic=EA2 のマジックナンバー、その他は初期値

### 【追跡先 B 口座】

追跡先では EA1 追跡用のチャート A と、EA2 追跡用のチャート B の計2つのチャートを表示し以下のように MT4track\_Trader をセットします

- チャート A に MT4track\_Trader をセット  
パラメータは ID=1、Magic=1、その他は任意で設定
- チャート B に MT4track\_Trader をセット  
パラメータは ID=2、Magic=2、その他は任意で設定

### 【補足】

ID=1 にて EA1 の売買、ID=2 にて EA2 の売買を追跡する形になります。



## 例6 同一PC内でA口座→B口座、C口座→D口座の追跡をする

同一 PC 内で MT4track を複数稼働する場合には ID をそれぞれ異なる値に設定する必要があります。

### 【追跡元 A 口座】

MT4track をセット パラメータは ID=1、その他は初期値

### 【追跡先 B 口座】

MT4track\_Trader をセット パラメータは ID=1、その他は初期値

### 【追跡元 C 口座】

MT4track をセット パラメータは ID=2、その他は初期値

### 【追跡先 D 口座】

MT4track\_Trader をセット パラメータは ID=2、その他は初期値

### 【補足】

ID=1 にて A 口座 B 口座間の売買、ID=2 にて C 口座 D 口座間の売買を行う形になります。口座が異なりますので、MT4track\_Trader の Magic については変更する必要はありません。

同一 PC 内の場合ですので、PC1 にて A→B 口座の追跡売買、PC2 にて C→D 口座間の売買というように PC を分けて行う場合には、例 1 のように ID は変更する必要はございません。

## 10. お問い合わせ頂く際のお願い

不具合やご利用方法に関するお問い合わせを頂く際は、ここに記載の内容を参考にお問い合わせください。「動かない」「うまく売買されない」等だけのご連絡ですと何度もメールのやり取りが発生しお時間を頂くことになりますので、ご協力をお願い致します。

お問い合わせは [mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com) までお願い致します。

### 不具合に関する質問

不具合に関するご質問の場合には以下の内容のご連絡をお願い致します。

- ①不具合の状況がわかる PC 画面のスクリーンショット
- ②不具合内容 (なるべく具体的にご説明ください)
- ③不具合の発生状況 (確実に発生する、たまに発生する等々)
- ④ログファイル※

※ログは 2 種類あります。

1. MT4track\_Trader を稼働させている MT4 をインストールしたフォルダ内の logs フォルダの「日付.log」というファイル。現象が発生した日付のログファイルをご送付ください。
2. 同じく MT4track\_Trader を稼働させている MT4 をインストールしたフォルダ内の experts フォルダ→files フォルダ→MT4track フォルダの下の「MT4tracklog\_マジックナンバー\_日付.txt」というファイル。現象が発生した日付のログファイルをご送付ください。マジックナンバーは MT4track\_Trader に設定しているパラメータ「Magic」の値になります。

MT4 をインストールしたフォルダの場所がわからない場合について

WindowsXP の場合、C:\Program Files\MetaTrader4 等となり「MetaTrader4」の部分がブローカーにより異なります。デスクトップにある MT4 のショートカットを右クリックしプロパティを表示することでフォルダの場所を確認することができます。

## 11.最後に

今後の開発の参考にさせていただきますので、ご意見、ご感想、何か気付かれた点等ございましたら、気軽に[mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com)までご連絡ください。よろしくお願い致します。  
また、こんな商品が欲しい等のご要望も受け付けております。